

		整理番号	24
【評価事務事業：当初確認事項】		担当課名	教育総務課
事業名	大栄小「ことばの教室」の設置		
教育ビジョン	小項目	4 子どもが意欲を持っていきいき学び、基礎・基本を身につける学校教育	その他共通ビジョン項目
	具体的な目標	5 個に応じた指導の育成	
事業の目的・概要	【目的】 言語にかかわる学習や生活におけるつまずきや困り感を軽減するために、一人一人に合わせた指導を行う。 【概要】 通常は、在籍している学級で学習し、週に1～2回程度「ことばの教室」に出かけて学習する。1対1の個別指導が中心。		
事業の効果	【効果】 必要な言葉のトレーニングやコミュニケーションの力を高めるトレーニングを行うことにより、自分に自信が付き、楽しく学校生活を送ることができる。		
具体的な取り組み	通級指導担当教員は、次のことを行う。 ・一人一人の児童にあわせた指導。 ・在籍学級担任と連携。(在籍学級での様子の観察及び在籍学級における配慮への助言)。 ・保護者への支援。 北栄町教育委員会は、通級指導委員会を設置し、通級指導教室の円滑な運営を図るとともに、指導のより一層の充実を図る。 ・入退級の審査 ・事例検討		

【最終評価】

事務局	事業実績	・開設：平成17年度 ・対象：東伯郡内小学校の言葉やコミュニケーションに不安がある児童 ・内容：構音・吃音・言語障がい等による学習・生活の困難改善・克服のため週1、2回程度の指導、保護者支援 ・指導：大栄小に指導教員1名配置
	成果・効果	構音・吃音の児童は、個別指導で舌を動かす方法や正しい発音等を学び、少しずつ改善している。コミュニケーションに課題がある児童は、小集団指導により、友達に思いや考えを伝えることを楽しみ、自信をつけている。
	課題	通級による指導を希望する児童が年々増えてきている。そのため、指導時間、教材準備で精一杯になり、在籍校での通級児童の様子を参観する時間がとれていない。
	改善方針	通級指導委員会で入退級について審議し、入級時に立てた目標が達成された場合等は退級とする。大栄小学校の行事の時を利用して、他校児童の在籍学級での学習を参観し、通級で付けた力が活かされるようにする。
内部評価		最終評価 C 【意見等】・入級し指導している構音・吃音の児童は、個別指導で舌を動かす方法や正しい発音等を学び、少しずつ改善している。コミュニケーションに課題がある児童は、小集団指導により、友達に思いや考えを伝えることを楽しみ、自信をつけている。 ・一人ひとりにあった指導の効果が確認できている。事業を継続していく必要がある。

※ 評価確認事項

★評価の観点

① 継続・単年
② 対象者、参加者
③ 参加者の満足度
④ 予算措置
⑤ 教育ビジョンへの貢献度

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

★評価の基準

A = 目標を大幅に達成できた	D = 目標を一部達成できなかった
B = 目標をいくらか超えて達成できた	E = ほぼ全く達成できなかった
C = 目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

整理番号	18
担当課名	教育総務課

【評価事務事業：当初確認事項】

事業名	全小中学校 校務用パソコンの更新(年次更新)		
教育ビジョン	小項目	4 子どもが意欲を持っていきいき学び、基礎・基本を身につける学校教育	その他共通ビジョン項目 4-4
	具体的な目標	6 より豊かな教育のための環境整備	
事業の目的・概要	【目的】 学校教職員用パソコンを計画的に更新することにより、授業教材作成や保護者・教育委員会連絡用務など学校教育業務の効率的・効果的な実施を推進する。 【概要】 導入後5年を経過した校務用パソコンを平成24年度から年次計画により計画更新する。 ※平成25年度:40台更新⇒全小・中学校パソコン計画更新完了		
事業の効果	【効果】 ・学習教材や指導計画案等の作成及び教育素材の情報収集等による学習の充実を図ることができる。 ・町教育委員会等の事務的業務の円滑な実施・連携が実施できる。 ・昨今の動静による教育の情報化に円滑に対応することができる。		
具体的な取り組み	・平成25年3月議会終了後:設計起案 ・平成25年4月:入札実施 ・平成25年5月末:小中学校導入完了		

【最終評価】

事務局	事業実績	・当初計画どおり発注事務等を行い、平成26年6月1日に40台の更新を行った。 ・指名競争入札により設計額に対し導入額が72.9%に抑えることができた。
	成果・効果	・H18導入のパソコンなどを速やかな更新導入により学習や事務業務の円滑な実施が可能となった。 ・全小・中学校の校務用パソコンが計画どおり更新され、全教職員がパソコン不具合のない効率的な業務の執行が可能となった。
	課題	・最も古いモデルのパソコンが平成21年度導入となり、当面は更新の必要性はないが、長期的な更新計画を策定しておく必要がある。
	改善方針	【中断】 ・全体整備パソコンの計画的な更新が完了したため、当面は更新業務は行わない。 ・パソコン環境の進歩等を読み取り、今後計画的な更新計画を策定する。
内部評価		最終評価 C 【意見等】 ・昨今、さまざまな業務においてパソコン環境は不可欠なものであり、今回、新しいパソコン環境が整備されたことは、教育環境にとって効果的であり、児童生徒への学習や教員の負担軽減に役立つものと考え。

※ 評価確認事項

★評価の観点

- ① 継続・単年
- ② 対象者、参加者
- ③ 参加者の満足度
- ④ 予算措置
- ⑤ 教育ビジョンへの貢献度

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

★評価の基準

- | | |
|---------------------|-------------------|
| A = 目標を大幅に達成できた | D = 目標を一部達成できなかった |
| B = 目標をいくらか超えて達成できた | E = ほぼ全く達成できなかった |
| C = 目標どおり達成できた | |

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

整理番号

19

【評価事務事業：当初確認事項】

担当課名

教育総務課

事業名	英語指導助手(ALT)の配置		
教育ビジョン	小項目	4 子どもが意欲を持っていきいき学び、基礎・基本を身につける学校教育	その他共通ビジョン項目
	具体的な目標	7 国際化に応じた教育の充実	
事業の目的・概要	【目的】 ALTとの英語の授業や英語に触れる活動、日常的なふれあい等を通じて、外国の様子や文化を理解しその良さを認めるとともに自分の国の良さを知り、英語によるコミュニケーション能力を身に付ける。 【概要】 2名配置(北条中学校、大栄中学校)し、中学校英語科、保育所・こども園・小学校外国語活動の指導補助にあたっている。中学校勤務3日、小学校勤務1日、教育委員会・保育所・こども園勤務0.5日		
事業の効果	【効果】 中学校:英語科の授業において教師とチームティーチングを組んで指導することによって、英語によるコミュニケーション能力(話す・聞く・各・読む)が育つ。 保育所・こども園、小学校:担任とALTが、英語に慣れ親しむ活動、外国語活動を展開することによって、世界の国々に興味関心を持つとともに、英語によるコミュニケーションの素地が養われる。		
具体的な取り組み	中学校英語科(英語教師とALTとのチームティーチング、英語弁論大会の指導) 小学校5・6年生外国語活動(担任とALTのチームティーチング) 保育所・こども園、小学校1〜4年の外国語活動(英語に触れる活動) 給食・休憩時間、行事等学校生活の中で子どもたちと触れ合う。 週に1回公民館で町民対象の夜間の英会話教室(自主運営)を担当		

【最終評価】

事務局	事業実績	英語指導助手(ALT) ・対象：保育所・こども園園児、小学校児童、中学校生徒、町民 ・内容：外国語活動、英語科の指導補助、英会話教室 ・指導：各中学校に1名配置
	成果・効果	子どもたちは、ALTと学習したり、給食時間・休憩時間等にかかわることにより、異文化への興味関心を持つとともに、英語で話したい聞きたいという意欲や積極性が高まった。
	課題	保育所・こども園、小学校においては、英語で打ち合わせをすることが難しかった。
	改善方針	小学校においては、外国語教育指導員とALTと担任で打ち合わせをする。 保育所・こども園では、ジェスチャーや具体物を用いながらコミュニケーションを図っていく。
内部評価	最終評価	【意見等】 ALTと学習したり、給食時間・休憩時間等にかかわることにより、異文化への興味関心を持つとともに、英語で話したい聞きたいという意欲を持った。
	C	

※ 評価確認事項

★評価の観点

- ① 継続・単年
- ② 対象者、参加者
- ③ 参加者の満足度
- ④ 予算措置
- ⑤ 教育ビジョンへの貢献度

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

★評価の基準

- | | |
|---------------------|-------------------|
| A = 目標を大幅に達成できた | D = 目標を一部達成できなかった |
| B = 目標をいくらか超えて達成できた | E = ほぼ全く達成できなかった |
| C = 目標どおり達成できた | |

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

		整理番号	20
【評価事務事業：当初確認事項】		担当課名	教育総務課
事業名	外国語教育事業の実施(1～4年)		
教育ビジョン	小項目	4 子どもが意欲を持っていきいき学び、基礎・基本を身につける学校教育	その他共通ビジョン項目
	具体的な目標	7 国際化に応じた教育の充実	
事業の目的・概要	【目的】 子どもたちが、英語に慣れ親しみ、国際感覚を身に付ける 【概要】 小学校1～4年生で、年間10回ずつ「英語に触れる活動」を行う。		
事業の効果	【効果】 外国語に触れる活動を通し、自分たちとは違う言葉・文化に気付いたり、自国や世界の国々に興味を持ったりすることができる。		
具体的な取り組み	・「学年に応じた目標・評価の観点」「年間指導計画」「こんな気持ちで外国語活動を！！～教師の心構え～」を作成し、それに基づき実施。 ・担任・ALT・外国語教育指導員で、事前に、活動案を基に授業の目標や活動内容などの打ち合わせを行う。 ・ゲーム・歌など体験的な活動を通して、楽しみながら英語に触れる活動を行う。		

【最終評価】

事務局	事業実績	外国語教育事業(1～4年) ・子どもたちが英語に慣れ親しみ、国際感覚を身に付ける ・各学年、年間10回ずつ「英語に触れる活動」を行う
	成果・効果	英語で話すALT(外国語指導助手)や外国語教育指導員の目や表情を見ながら集中して聞き、自分から積極的に話しかけようとした。 英語に触れる活動を通して、英語や異国の文化に対する関心が高まった。
	課題	担任、ALT、外国語教育指導員で打ち合わせをする時間の確保が難しい。
	改善方針	活動案を共有フォルダに入れて活用することにより、打ち合わせの効率化を図る。
内部評価	最終評価	【意見等】 ALT(外国語指導助手)や外国語教育指導員との関わりの中で、目や表情を見ながら集中して聞き、子どもたちが自分から積極的に話しかけようとした。英語に触れる活動を通して、英語や異国の文化に対する関心が高まった。
	C	

※ 評価確認事項

★評価の観点
① 継続・単年
② 対象者、参加者
③ 参加者の満足度
④ 予算措置
⑤ 教育ビジョンへの貢献度

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

★評価の基準	
A = 目標を大幅に達成できた	D = 目標を一部達成できなかった
B = 目標をいくらか超えて達成できた	E = ほぼ全く達成できなかった
C = 目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

			整理番号	21
【評価事務事業：当初確認事項】			担当課名	教育総務課
事業名	外国語教育指導員の配置			
教育ビジョン	小項目	4 子どもが意欲を持っていきいき学び、基礎・基本を身につける学校教育		その他共通ビジョン項目
	具体的な目標	7 国際化に応じた教育の充実		
事業の目的・概要	【目的】 小学校児童が、英語に慣れ親しみ、国際感覚を身に付ける。 【概要】 北条小学校、大栄小学校に各1名配置。(週1日、7時間勤務) 1～4年生の英語に触れる活動、5・6年生の外国語活動を担任とともに行う。			
事業の効果	【効果】 外国語指導員が話す英語に関心を持って聞き取ったり、英語で伝えようとし、英語を使つてのコミュニケーションの素地を養うことができる。 英語を話す指導員の姿に触れることで、英語で話すことへのあこがれや意欲が育つ。			
具体的な取り組み	担任と一緒に5・6年生の外国語活動、1～4年生の英語に触れる活動を行う 内容や児童の実態に応じて、担任、ALT(外国語指導助手)と一緒に授業を行うこともある。 授業の打ち合わせ 教材研究・教材準備			

【最終評価】

事務局	事業実績	外国語教育指導員 ・対象：小学校児童 ・内容：1～4年英語に触れる活動、5・6年外国語活動の指導を担当と一緒にいる ・指導：各小学校に1名配置
	成果・効果	外国語指導員が話す英語に関心を持って聞き取ったり、英語で積極的に伝えようとした。
	課題	担任、ALTとの授業の打ち合わせが多く、勤務時間を超過してしまうことがある。
	改善方針	事前に活動案を担当が準備し、打ち合わせの効率化を図る。 活動案、教材は学校で共有する。
内部評価		最終評価 C 【意見等】 外国語指導員が話す英語に関心を持ち、英語を使つてのコミュニケーションの素地を養うことができた。 英語を話す指導員の姿に触れることで、英語で話すことへのあこがれの気持ちを持った。

※ 評価確認事項

★評価の観点

① 継続・単年
② 対象者、参加者
③ 参加者の満足度
④ 予算措置
⑤ 教育ビジョンへの貢献度

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

★評価の基準

A = 目標を大幅に達成できた	D = 目標を一部達成できなかった
B = 目標をいくらか超えて達成できた	E = ほぼ全く達成できなかった
C = 目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

		整理番号	25
【評価事務事業：当初確認事項】		担当課名	教育総務課
事業名	特別支援教育補佐員の配置		
教育ビジョン	小項目	4 子どもが意欲を持っていきいき学び、基礎・基本を身につける学校教育	その他共通ビジョン項目 4-5
	具体的な目標	8 特別支援教育の充実	
事業の目的・概要	【目的】 個別に配慮を要する児童生徒の支援に加え、平成25年度は、命にかかわる児童への学校生活において十分な配慮を行うとともに各児童の特性に合った学習指導を行う。 【概要】 各小学校に2名、各中学校に1名の特別支援教育補佐員を配置し、個別に配慮を要する児童生徒の学校生活における支援を行う。		
事業の効果	【効果】 ・通常学級に在籍する児童生徒を個別に支援することで困り感を解消できる。 ・病気や障がいにより学校生活に個別の配慮が必要な児童に対し個別に支援することで困り感を解消する。 ・各児童生徒の特性にあった学習指導を行い、子どもたちの豊かな育ち・学びの推進を図る。		
具体的な取り組み	・各小学校 2名、各中学校 1名配置 ※特別支援教育補佐員(臨時職員):週5日 7時間45分勤務 ・通常学級に在籍する個別に配慮を要する児童生徒への学習等の支援を行い、困り感の解消をする。 ・通常学級全体の学級経営をよりきめ細かく対応し、各児童生徒の基礎学力の向上を図る。 ・病気や障がいにより個別の支援が必要な児童に対し学校生活の支援をすることで、個々の学習や生活習慣、社会性を習得する。		

【最終評価】

事務局	事業実績	・小学校2校に各2名、中学校2校に各1名 合計6名を配置。 ・北条小:ダウン症1名、心疾患1名、大栄小:重度アレルギー1名、肺疾患1名を中心に学校生活及び学習を支援。 ・小・中学校4校:特別支援学級入級児童生徒及び通常学級に在籍する個別に配慮を要する児童生徒に対し、学校生活・学習の困り感を解消する支援。
	成果・効果	・ダウン症児童の特性に合った学習や生活の支援が実施できた。 ・心・肺疾患、重度アレルギー児童に対し個別な配慮を行うことにより、安全な学習や生活を送ることができた。 ・特別支援学級、通常学校に在籍する配慮を要する児童生徒の学習・生活の支援を行い豊かな育ちに取り組んだ。
	課題	・通常学級に潜在する個別に配慮を要する児童の把握・支援が必要である。
	改善方針	●「継続」 ・障がいや疾病等個別に配慮を要する児童生徒に対しきめ細かな学習・生活を支援を行い、豊かに育ち・学ぶことができる学校教育環境づくりを継続する。
内部評価	最終評価	【意見等】
	C	・担任を中心としながら、特別支援教育補佐員が個別に配慮を要する児童の生活及び学習を支援することにより、児童生徒全体の豊かな育ちと学びを行う環境とすることができた。 ・命にかかわる疾病等による児童を支援することで安全な学校生活を行うことができた。 ・一人ひとりにあった指導をすることによる効果が確認できている。事業を継続する必要がある。

※ 評価確認事項

★評価の観点

① 継続・単年
② 対象者、参加者
③ 参加者の満足度
④ 予算措置
⑤ 教育ビジョンへの貢献度

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

★評価の基準

A = 目標を大幅に達成できた	D = 目標を一部達成できなかった
B = 目標をいくらか超えて達成できた	E = ほぼ全く達成できなかった
C = 目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

		整理番号	22
【評価事務事業：当初確認事項】		担当課名	教育総務課
事業名	学校における人権教育の推進		
教育ビジョン	小項目	5 人権を尊重する気運が社会に根付き、豊かな人間性や社会性を身につけた人があふれる町	その他共通ビジョン項目
	具体的な目標	1 学校人権教育の推進	
事業の目的・概要	【目的】 豊かな心を持つ人を育成する。 【概要】 各学校が人権教育全体計画を作成し、教育活動を実施する。		
事業の効果	【効果】 人権教育全体計画を作成して教育活動を実施することで、豊かな心を持つ人を育成することにつながる。		
具体的な取り組み	人権教育全体計画の作成 人権教育全体計画に沿った教育活動の実施		

【最終評価】

事務局	事業実績	人権教育全体計画の作成 人権教育全体計画に沿った教育活動の実施
	成果・効果	人権教育全体計画を作成して教育活動を実施することで、豊かな心を持つ人を育成することにつながる。
	課題	特になし
	改善方針	取組のさらなる充実を図る
内部評価		最終評価 C 【意見等】計画に基づき、実施することができた。

※ 評価確認事項

★評価の観点
① 継続・単年
② 対象者、参加者
③ 参加者の満足度
④ 予算措置
⑤ 教育ビジョンへの貢献度

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

★評価の基準	
A =目標を大幅に達成できた	D =目標を一部達成できなかった
B =目標をいくらか超えて達成できた	E =ほぼ全く達成できなかった
C =目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

		整理番号	26
【評価事務事業：当初確認事項】		担当課名	生涯学習課
事業名	社会教育講演会事業		
教育ビジョン	小項目	5 人権を尊重する気運が社会に根付き、豊かな人間性や社会性を身につけた人があふれる町	その他共通ビジョン項目
	具体的な目標	2 生涯学習の推進	
事業の目的・概要	【目的】生涯学習の推進 【概要】宝くじ文化公演会の開催		
事業の効果	【効果】町民の教養・文化活動への関心を高める。		
具体的な取り組み	・宝くじ文化公演会の開催 日時：10月12日(土曜日) 10:00～ 場所：大栄農村環境改善センター 講師：渡部陽一 氏 演題：世界からのメッセージ ～希望のある明日のために～		

【最終評価】

事務局	事業実績	総席数404席の内、入場者375人
	成果・効果	町民の教養・文化活動への関心を高められた。
	課題	未就学児を連れた人が入場できるようにする。
	改善方針	託児の実施
内部評価	最終評価	【意見等】・世界の様子を知ることができ、町民の教養・文化活動への関心を高めることができた。事業を継続していく必要がある。
	C	

※ 評価確認事項

★評価の観点

① 継続・単年
② 対象者、参加者
③ 参加者の満足度
④ 予算措置
⑤ 教育ビジョンへの貢献度

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

★評価の基準

A =目標を大幅に達成できた	D =目標を一部達成できなかった
B =目標をいくらか超えて達成できた	E =ほぼ全く達成できなかった
C =目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

		整理番号	27
【評価事務事業：当初確認事項】		担当課名	生涯学習課
事業名	社会教育推進事業(生涯学習出前講座提供事業)		
教育ビジョン	小項目	5 人権を尊重する気運が社会に根付き、豊かな人間性や社会性を身につけた人があふれる町	その他共通ビジョン項目
	具体的な目標	2 生涯学習の推進	
事業の目的・概要	【目的】地域や団体が主体的に学習できる体制を作ることで、学習への意欲の向上を図る。 【概要】生涯学習出前講座の実施		
事業の効果	【効果】「いつでも・どこでも・だれでも」生涯学習への意欲向上が図れる。 自治会・住民団体等の主体的な活動を支援することで自発的で、活力のある地域づくりにつなぐ。		
具体的な取り組み	年間を通じ、生涯学習出前講座72講座を提示し、提供する。		

【最終評価】

事務局	事業実績	H25. 12. 27現在で36講座を実施した。
	成果・効果	自治会長会等でのチラシ配布・周知等によりだいぶ定着してきている。 現在、1団体実施予定。目標を達成する見込みあり。
	課題	自治会・団体以外での利用が少ない。
	改善方針	町報・HP等を活用して、団体以外の方の利用を促す。
内部評価	最終評価	【意見等】・今後は、メニューの上手な活用方法などの周知を工夫し、出前講座の良さをより知っていただく取組みも重要。 ・町民に生涯学習を定着させる必要があり、事業を継続していく。
	C	

※ 評価確認事項

★評価の観点

① 継続・単年
② 対象者、参加者
③ 参加者の満足度
④ 予算措置
⑤ 教育ビジョンへの貢献度

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

★評価の基準

A = 目標を大幅に達成できた	D = 目標を一部達成できなかった
B = 目標をいくらか超えて達成できた	E = ほぼ全く達成できなかった
C = 目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

●平成25年度教育行政評価 事業評価シート

外・内部 評価用

整理番号	28
担当課名	生涯学習課

【評価事務事業：当初確認事項】

事業名	町民音楽祭開催			
教育ビジョン	小項目	5 人権を尊重する気運が社会に根付き、豊かな人間性や社会性を身につけた人があふれる町	その他共通ビジョン項目	
	具体的な目標	2 地域文化とのふれあいを深める教育の推進		
事業の目的・概要	【目的】音楽に触れる機会を作ると共に町内で音楽(合唱など)活動にがんばっている人たちに発表の場を提供する。 【概要】町民音楽祭(北栄町コーラスフェスティバル)の開催(11月中・下旬:中学校の文化祭終了後予定)			
事業の効果	【効果】これまで町として合唱・コーラス等の発表の場が少なく、こうしたイベントを通じて活動の活発化をはかる。			
具体的な取り組み	町民音楽祭の開催 ※11月中・下旬:中学校文化祭終了後(予定) (開催だけでなく、練習場所の提供など。基本的に運営は実行委員会がおこなう。)			

【最終評価】

事務局	事業実績	町民所音楽祭を開催 参加 7グループ 述べ300名		
	成果・効果	小学生から愛好家団体まで幅広い年齢層の方の参加があった。		
	課題	学生の出番が終わると観客が減ってしまった。 実行委員会形式が未定着		
	改善方針	最後まで聞いてもらう工夫が必要(順番を変える)。		
内部評価		最終評価	【意見等】・みんなの町民音楽祭、住民主体の音楽祭として、より定着させていく取り組みが必要。	
		C	・地域文化とのふれ合いを深める目標を達成するために発表会だけではなく多彩な活動を紹介・実践する。	

※ 評価確認事項

★評価の観点
① 継続・単年
② 対象者、参加者
③ 参加者の満足度
④ 予算措置
⑤ 教育ビジョンへの貢献度

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

★評価の基準	
A = 目標を大幅に達成できた	D = 目標を一部達成できなかった
B = 目標をいくらか超えて達成できた	E = ほぼ全く達成できなかった
C = 目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

		整理番号	29
【評価事務事業：当初確認事項】		担当課名	生涯学習課
事業名	人権の花運動の実施		
教育ビジョン	小項目	5 人権を尊重する気運が社会に根付き、豊かな人間性や社会性を身につけた人があふれる町	その他共通ビジョン項目
	具体的な目標	3 人権教育の推進	
事業の目的・概要	【目的】 花を育てることを通して、命の尊さを学び、友達と協力する心、豊かな心、思いやりの心を養う。 【概要】 5月21日(火)、北条小学校、大栄小学校で人権擁護委員が花の苗654株等を贈呈。児童と一緒にプランターへの移植作業を行う。以後、児童が水遣り等の管理を行い栽培する。		
事業の効果	【効果】 人や物を大切にし、相手を思いやる心が育つ		
具体的な取り組み	6種類の花の苗、計654株を北条小学校と大栄小学校に贈呈。 北条小学校は栽培委員会、 大栄小学校は環境ボランティア委員会 が中心となって水遣りや花壇への植え替えなど、花の管理を行う。		

【最終評価】

事務局	事業実績	5月21日、人権擁護委員によって花苗654株や「思いやりの心を育てよう 人権の花運動」と記したプランター等を両小学校に贈呈し、人権擁護委員と児童と一緒にプランターへの移植作業を行った。また、児童や教職員が協力して水遣り等を行い花を育てた。	
	成果・効果	花を育てることを通して、生命を慈しむ心、相手を思いやる優しい心を育むことができ、人権尊重精神の素地形成に効果があった。また、来校者が人権標語入りのプランター等を見ることにより、人権啓発の推進に資するものとなっている。	
	課題	北条小学校は栽培委員会中心、大栄小学校は環境ボランティア委員会が中心となって栽培・管理しているが、その他の児童に対して、事業の趣旨をより理解してもらうための対応も必要。贈呈式以降の人権擁護委員と児童等との関わりが少ない。	
	改善方針	人権擁護委員による校内での人権学習参加を行い、事業趣旨等の説明を行う。(引き続き継続)	
内部評価		最終評価	【意見等】・「花」以外の材料を用いてみたい。
		C	

※ 評価確認事項

★評価の観点

- | |
|---------------|
| ① 継続・単年 |
| ② 対象者、参加者 |
| ③ 参加者の満足度 |
| ④ 予算措置 |
| ⑤ 教育ビジョンへの貢献度 |

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

★評価の基準

- | | |
|---------------------|-------------------|
| A = 目標を大幅に達成できた | D = 目標を一部達成できなかった |
| B = 目標をいくらか超えて達成できた | E = ほぼ全く達成できなかった |
| C = 目標どおり達成できた | |

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

		整理番号	30
【評価事務事業：当初確認事項】		担当課名	生涯学習課
事業名	人権教育小地域懇談会の開催		
教育ビジョン	小項目	5 人権を尊重する気運が社会に根付き、豊かな人間性や社会性を身につけた人があふれる町	その他共通ビジョン項目
	具体的な目標	3 人権教育の推進	
事業の目的・概要	【目的】 町民の人権意識を高めるとともに、差別や偏見などを自らの問題として捉え、積極的に正していこうと行動できる人を育てる。 【概要】 さまざまな人権問題のなかから、全63自治会が学習テーマを決定し、自主的、主体的な取り組みとして懇談会等を実施する。		
事業の効果	【効果】 人権が尊重され、暮らしやすいまちづくりを推進する。		
具体的な取り組み	さまざまな人権課題や学習方法に対応出来るよう、学習メニュー案を複数提示するとともに、自治会独自の学習テーマにも柔軟に対応して、自治会が主体となって行うことを周知するなかで、自らの問題としてより多くの方に参加していただく。		

【最終評価】

事務局	事業実績	学習メニュー案を九つ設定。話すのが苦手な人に対する手立てとして、ビデオ視聴やミニ講演等のあとに懇談を行わない学習パターンを追加。また、「堅苦しい」などの固定化したイメージを払拭し、さまざまな人権課題に対応した会であることをアピールするため、会の名称を「人権を学ぶ会」に変更。全63自治会で実施した。
	成果・効果	参加者の人権意識の覚醒と高揚を図り、人権が尊重された住みよい地域社会づくりを推進した。参加者アンケートで、「懇談がないことにより気楽に参加できた。」「ビデオを見るだけでも勉強になった」など、好意的な意見が多く寄せられており、参加者が僅かながら増加した一因と考える。
	課題	懇談を行わない学習パターンは、人権意識が深まらない、本来の学習のスタイルではないなどの否定的な意見があり、再度、手法について関係者の意思統一が必要。
	改善方針	しばらくは、参加者を増やすことを目的として、懇談のない学習パターンを設けることを継続し、自然発生的に懇談が始まって、発言を強制しないことを基本として、臨機応変に対応する。(引き続き継続)
内部評価	最終評価	【意見等】・まず、受け入れられるという観点、すべての人の人権が尊重されることから再出発することが大切。 ・基本的人権を守る観点からこの事業を継続していく必要がある。

※ 評価確認事項

★評価の観点

① 継続・単年
② 対象者、参加者
③ 参加者の満足度
④ 予算措置
⑤ 教育ビジョンへの貢献度

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

★評価の基準

A = 目標を大幅に達成できた	D = 目標を一部達成できなかった
B = 目標をいくらか超えて達成できた	E = ほぼ全く達成できなかった
C = 目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

		整理番号	31
		担当課名	生涯学習課
【評価事務事業：当初確認事項】			
事業名	小中学生の人権学習会の開催		
教育ビジョン	小項目	5 人権を尊重する気運が社会に根付き、豊かな人間性や社会性を身につけた人があふれる町	その他共通ビジョン項目 3-7
	具体的な目標	3 人権教育の推進	
事業の目的・概要	【目的】 さまざまな人権問題に関わる差別や偏見に気づき、解消する力を育てる。 【概要】 参加を希望する児童・生徒を対象として、学校の人権学習と連動した人権学習を行い、人権に関する知識や認識を広げたり、深めたりして差別を解消する力を育てる。		
事業の効果	【効果】 人権に関する知識や認識が深まり差別を解消する力が育つ。		
具体的な取り組み	町内小中学校単位で実施し、学校教諭が学校の人権学習と連動した人権学習を指導する。 学校を通して参加を希望する児童・生徒を募集する。 会場は、北条小学校が大野児童館、北条中学校が北条文化会館、大栄小学校と大栄中学校が大栄文化センターで開催する。 小学校が年間20回程度、中学校が年間32回程度実施する。		

【最終評価】

事務局	事業実績	大栄小学校児童は10人、大栄中学校生徒は4人、北条小学校児童は6人の参加。北条中学校生徒は参加無し。小学校は20回、中学校は32回実施。
	成果・効果	人権に関する正しい知識や理論を学ぶことにより、差別や偏見に負けず、それを正していくための力を身に付けることができる。また、地域の歴史や現状を学習し、地域に愛着と誇りを持つことができた。
	課題	人権学習に特化し、さらに学習対象者を地区児童・生徒に限定せず、参加を希望するすべての児童・生徒とすることで、広がりのある差別や偏見解消の取り組みとなることを狙ったが、地区外の児童・生徒の参加はなく、地区内児童・生徒の中にも不参加者がでた。参加者を増やす取り組みが必要。
	改善方針	地区内はもとより、地区外児童・生徒及びその保護者に対して、地域における人権学習の意義について事前に十分な説明を行い、参加の動機付けを図る。(引き続き継続)
内部評価	最終評価	【意見等】・地区児童・生徒に限定せず、参加を希望するすべての児童・生徒に対して人権学習に取り組む。 ・基本的人権に関する学習は永久にしていくなきと考える。事業を継続する必要がある。
	C	

※ 評価確認事項

★評価の観点
① 継続・単年
② 対象者、参加者
③ 参加者の満足度
④ 予算措置
⑤ 教育ビジョンへの貢献度

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

★評価の基準	
A = 目標を大幅に達成できた	D = 目標を一部達成できなかった
B = 目標をいくらか超えて達成できた	E = ほぼ全く達成できなかった
C = 目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

		整理番号	32
【評価事務事業：当初確認事項】		担当課名	生涯学習課
事業名	人権教育講演会の開催		
教育ビジョン	小項目	5 人権を尊重する気運が社会に根付き、豊かな人間性や社会性を身につけた人があふれる町	その他共通ビジョン項目
	具体的な目標	4 人権尊重まちづくりの推進	
事業の目的・概要	【目的】 人権に関する講演会を開催し、人権課題に対する理解を深め、人権意識の高揚を図る。 【概要】 外部講師により人権に関する講演会を開催する。		
事業の効果	【効果】 さまざまな人権課題に対する認識が深まり、人権意識の高揚が図れる。		
具体的な取り組み	7月18日(木)午後7時30分から、大栄農村環境改善センターで、講師に教育サポーターの仲島正教さんを招き、「あーよかったな あなたがいて 〜つながりと感動〜」という演題で、幼児期から思春期にかけての子育てを通した人権教育を内容とした講演会を開催。		

【最終評価】

事務局	事業実績	7月18日(木)午後7時30分から、大栄農村環境改善センターで、講師に教育サポーターの仲島正教さんを招き、「あーよかったな あなたがいて 〜つながりと感動〜」という演題で、幼児期から思春期にかけての子育てを通した人権教育を内容とした講演会を開催。	
	成果・効果	参加者の満足度が極めて高く、子どもの人権を考えることを通して人権全般について認識が高まった。	
	課題	参加者数が目標400人に対して約61%の247人とどまった。PTA関係者には多く参加していただいたが、一般参加者をさらに増やす必要がある。	
	改善方針	事業所や各種団体等に対して直接周知や参加依頼を行う。(引き続き実施)	
内部評価		最終評価	【意見等】・人権意識論を町民全体に広げる必要がある。事業を継続していく必要がある。 C

※ 評価確認事項

★評価の観点
① 継続・単年
② 対象者、参加者
③ 参加者の満足度
④ 予算措置
⑤ 教育ビジョンへの貢献度

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

★評価の基準	
A = 目標を大幅に達成できた	D = 目標を一部達成できなかった
B = 目標をいくらか超えて達成できた	E = ほぼ全く達成できなかった
C = 目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

		整理番号	33
【評価事務事業：当初確認事項】		担当課名	生涯学習課
事業名	人権教育事業所研修の実施		
教育ビジョン	小項目	5 人権を尊重する気運が社会に根付き、豊かな人間性や社会性を身につけた人があふれる町	その他共通ビジョン項目
	具体的な目標	4 人権尊重まちづくりの推進	
事業の目的・概要	【目的】 事業所経営者や従業員の方で人権教育講演会や懇談会等に参加しにくい方へ人権問題に関心を持っていただくため、事業所の自主的な実施の依頼や、こちらから講師として出向き研修を実施する。 【概要】 事業所に自主的に人権研修を実施していただくよう要請し、学習内容の助言等を行ったり事業所に出向いて研修を実施する。		
事業の効果	【効果】 人権研修機会が増え、より多くの人に人権研修を行っていただくことにより、人権尊重のまちづくりが一層推進できる。		
具体的な取り組み	事業所に対し、事業所経営者や従業員を対象とした人権研修の実施を依頼し、学習内容や学習教材のアドバイスをしたり、講師として指導を行う。		

【最終評価】

事務局	事業実績	人権教育推進員が主になって、各事業所が必要とする研修課題に関する教材等の助言や講師として参加。16事業所、延べ700人(見込み)の参加。
	成果・効果	人権研修機会や教材等の提供を行い、北栄町内事業所(職員)に対する人権意識高揚を図った。
	課題	町内大手や中堅事業所は例年実施しているところが多いが、中小事業所は開催が進んでいない。
	改善方針	中小事業所に対して、文書等により開催の呼びかけを行ってみる。また、独自実施が困難な事業所に対しては、県・町等が行う講演会等の案内を行い職員個々での参加を促していただく。(引き続き継続)
内部評価	最終評価	C 【意見等】 ・新規の事業所に実施を呼びかけるとともに、実施困難な事業所には、町主催の人権教育講演会などへの参加を促す予定。 ・人権意識論を町民全体に拡げていく必要がある。事業を継続していく必要がある。

※ 評価確認事項

★評価の観点
① 継続・単年
② 対象者、参加者
③ 参加者の満足度
④ 予算措置
⑤ 教育ビジョンへの貢献度

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

★評価の基準	
A = 目標を大幅に達成できた	D = 目標を一部達成できなかった
B = 目標をいくらか超えて達成できた	E = ほぼ全く達成できなかった
C = 目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

		整理番号	34
		担当課名	生涯学習課
【評価事務事業：当初確認事項】			
事業名	人権教育推進指導員、地区推進員等の研修		
教育ビジョン	小項目	5 人権を尊重する気運が社会に根付き、豊かな人間性や社会性を身につけた人があふれる町	その他共通ビジョン項目
	具体的な目標	5 関係諸機関、団体との連携及び指導者の育成	
事業の目的・概要	【目的】 町又は自治会における人権教育の推進役としてスキルアップを図る。 【概要】 研修会の開催や資料の提供。		
事業の効果	【効果】 推進指導員においては、小地域懇談会等での適切な指導や助言ができ、地区推進員においては、研修テーマや研修方法について主体的に決定し、運営することができる。		
具体的な取り組み	人権教育推進指導員は、人権教育小地域懇談会の前に会議を2回開催し、事前研修を行うとともに、小地域懇談会の全日程終了後、総括会議を開き、改善点等について検討する。 人権教育地区推進員も、小地域懇談会前に2回の会議を開催し、実施に当たっての留意事項等について把握をしていただく。また、2月頃に外部講師による研修会を開催する。		

【最終評価】

事務局	事業実績	「人権を学ぶ会」の開催に向けて人権教育推進指導員会議を3回、人権教育地区推進員会議を2回開催した。12月に4回目の推進指導員会議、2月に3回目の地区推進員会議(研修会)を開催。
	成果・効果	個々の人権に関する問題意識を高めていった。特に、3回目の推進指導員会議では、「北栄町人権を尊重するまちづくり推進計画」について理解を深め、町民に対する人権啓発推進を図った。
	課題	人権教育地区推進員は、毎年半数以上が新任者であり、多くの自治会では自主的な人権学習の実施につながっていない。また、人権教育推進指導員が減り、一人当たり自治会訪問回数が増えるなど、負担感が高くなっている。
	改善方針	人権教育地区推進員が真の「推進員」となるよう、地区推進員研修会で、役割認識を高める内容の研修を行う。また、推進指導員の確保に向けて、有識者や各種関係団体等に対して要請を行っていく。(引き続き継続)
内部評価		最終評価 D 【意見等】・指導員を増やす具体的な取り組みと住民主体の人権を学ぶ会の開催実現に対する取り組みを行うこと。 ・人権意識論を町民全体に広げていく必要がある。事業を継続していく必要がある。

※ 評価確認事項

★評価の観点
① 継続・単年
② 対象者、参加者
③ 参加者の満足度
④ 予算措置
⑤ 教育ビジョンへの貢献度

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

★評価の基準	
A = 目標を大幅に達成できた	D = 目標を一部達成できなかった
B = 目標をいくらか超えて達成できた	E = ほぼ全く達成できなかった
C = 目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

		整理番号	23
【評価事務事業：当初確認事項】		担当課名	生涯学習課
事業名	研修会、講座、教室等の開催(交流)		
教育ビジョン	小項目	5 人権を尊重する気運が社会に根付き、豊かな人間性や社会性を身につけた人があふれる町	その他共通ビジョン項目
	具体的な目標	7 隣保館活動の推進	
事業の目的・概要	【目的】 各種相談事業や人権課題の解決のための各種事業を通して、人権啓発と人権課題の解決を図る。 【概要】 地域社会全体のなかで福祉の向上や人権啓発の住民交流の拠点として、生活上の各種相談事業や人権課題の解決のための各種事業を行う。		
事業の効果	【効果】 人権啓発と人権課題の解決を推進することができる。		
具体的な取り組み	習字教室、生花教室、創作教室などの各種教室の開催による地域交流活動や人権教育講座、現地研修の開催などにより、福祉の向上や人権啓発、人権課題の解決を推進する。		

【最終評価】

事務局	事業実績	習字教室、生花教室、創作教室などの各種教室、人権教育講座、現地研修の開催。 大栄文化センター のべ66回開催。北条文化会館 のべ85回開催。(見込み)
	成果・効果	各種教室、人権教育講座の開催を通して、地域住民の交流を図ると共に、人権問題に関する住民意識の高揚を図っている。
	課題	各種教室生や人権教育講講座の参加者が少ない。
	改善方針	町報、館だよりをはじめとする広報を年度中途においても定期的に行い、参加者を増やす取り組みを行う。また、直接声掛けをおこない勧誘する。(引き続き継続)
内部評価	最終評価	【意見等】実施回数より参加人数に着目し、交流、理解が促進される取組みを検討すること。
	D	

※ 評価確認事項

★評価の観点
① 継続・単年
② 対象者、参加者
③ 参加者の満足度
④ 予算措置
⑤ 教育ビジョンへの貢献度

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

★評価の基準	
A = 目標を大幅に達成できた	D = 目標を一部達成できなかった
B = 目標をいくらか超えて達成できた	E = ほぼ全く達成できなかった
C = 目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

		整理番号	24
		担当課名	生涯学習課
【評価事務事業：当初確認事項】			
事業名	集会・教室等の開催		
教育ビジョン	小項目	5 人権を尊重する気運が社会に根付き、豊かな人間性や社会性を身につけた人があふれる町	その他共通ビジョン項目
	具体的な目標	8 児童館活動の推進	
事業の目的・概要	【目的】 季節に応じた行事などを実施し、児童館利用の推進を図り、児童の健全育成と情操を豊かにする 【概要】 季節に応じた行事などを実施し、児童館活動の推進を図る		
事業の効果	【効果】 児童の健全育成と情操を豊かにすることが期待できる		
具体的な取り組み	年間を通して、ちまき作り・七夕祭り・夏休み自由研究・正月遊び大会・ひな祭りなどの季節に応じた行事や、工作教室、交通安全教室、防災教室、こどもふれあい祭りなど各種行事を開催する。		

【最終評価】

事務局	事業実績	ちまき作り、お茶会（お月見）、たこ作りなどの季節に応じた行事や、さつまいもやじゃがいも植え・収穫などの農業体験、工作教室などを通して情操を育んだ。
	成果・効果	工作教室、実験教室、農業体験、ちまきづくり、児童館合宿、卓球大会、交通安全教室などの各種行事を実施。仲間作りと情操を育む場となっている。
	課題	利用者の範囲が、児童館所在地区の児童等がほとんどとなっている。
	改善方針	じどうかんだより（学校経由で配布）で、全町民を対象とした施設であることを周知。また、その他の広報手段を通して周知を図る。（引き続き継続）
内部評価	最終評価	【意見等】 広く町内児童の健全育成に関われる取り組みを実施すること。 児童館登録児童については、家庭も含めた関わりが持てる取り組みを進めること。
	D	

※ 評価確認事項

★評価の観点
① 継続・単年
② 対象者、参加者
③ 参加者の満足度
④ 予算措置
⑤ 教育ビジョンへの貢献度

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

★評価の基準	
A = 目標を大幅に達成できた	D = 目標を一部達成できなかった
B = 目標をいくらか超えて達成できた	E = ほぼ全く達成できなかった
C = 目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

●平成25年度教育行政評価 事業評価シート

内部 評価用

整理番号

25

担当課名

生涯学習課

【評価事務事業：当初確認事項】

事業名	安全な遊び場の提供			
教育ビジョン	小項目	5 人権を尊重する気運が社会に根付き、豊かな人間性や社会性を身につけた人があふれる町	その他共通ビジョン項目	
	具体的な目標	8 児童館活動の推進		
事業の目的・概要	【目的】遊びを通して児童の健全育成と情操を豊かにする 【概要】遊戯室や室内遊具、図書の利用など			
事業の効果	【効果】遊びを通して児童の健全育成と情操を豊かにすることができる			
具体的な取り組み	原則日曜、祝祭日、年末年始の休みを除き、児童館を開館。			

【最終評価】

事務局	事業実績	工作教室、実験教室、農業体験、ちまきづくり、児童館合宿、卓球大会、交通安全教室などの各種行事を実施。また、遊戯室を解放して遊びの場としている。
	成果・効果	遊を通して、健康な体づくりを推進。特に雨天時や猛暑、厳寒時などの遊びの場として有効。
	課題	利用者の範囲が、児童館所在地区の児童等がほとんどとなっている。
	改善方針	じどうかんだより(学校経由で配布)で、全町民を対象とした施設であることを周知。また、その他の広報手段を通して周知を図る。(引き続き継続)
内部評価	最終評価	【意見等】全町民対象の施設として事業展開をすること。
	D	

※ 評価確認事項

★評価の観点

- ① 継続・単年
- ② 対象者、参加者
- ③ 参加者の満足度
- ④ 予算措置
- ⑤ 教育ビジョンへの貢献度

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

★評価の基準

- | | |
|--------------------|------------------|
| A =目標を大幅に達成できた | D =目標を一部達成できなかった |
| B =目標をいくらか超えて達成できた | E =ほぼ全く達成できなかった |
| C =目標どおり達成できた | |

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

整理番号 26

担当課名 生涯学習課

【評価事務事業：当初確認事項】

事業名	スポーツ県外派遣費補助金			
教育ビジョン	小項目	6 学習やスポーツに積極的に参加し、文化や芸術に親しみ、心身ともに健康で、自らの夢を実現させる人があふれる町	その他共通ビジョン項目	
	具体的な目標	3 部活動やスポーツクラブの充実と全国大会派遣		
事業の目的・概要	【目的】 北栄町スポーツ県外派遣費補助金 県外のスポーツ大会に出場する小・中学生に対し、参加経費の一部を補助することにより、スポーツ振興に寄与する。 【概要】 鳥取県・鳥取県中部の代表として県外のスポーツ大会に出場する町内の小・中学生に対し、参加に要する経費の一部を補助する。			
事業の効果	【効果】 本事業の実施により、町のスポーツ競技力向上を図る。			
具体的な取り組み	北栄町スポーツ県外派遣費補助金(平成26年1月6日現在) 申請 6件			

【最終評価】

事務局	事業実績	北栄町スポーツ県外派遣費補助金(平成26年1月6日現在) 6件	
	成果・効果	県外のスポーツ大会に出場する小・中学生に対し、参加経費の一部を補助することにより、スポーツ振興に寄与した。	
	課題	補助申請者が、スポーツクラブなどに所属していない場合、申請事務が申請者の負担となってしまう。	
	改善方針	事務局による申請書類作成の補助を行う。	
内部評価	最終評価	【意見等】・特になし	
	C		

※ 評価確認事項

★評価の観点

- ① 継続・単年
- ② 対象者、参加者
- ③ 参加者の満足度
- ④ 予算措置
- ⑤ 教育ビジョンへの貢献度

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

★評価の基準

- | | |
|---------------------|-------------------|
| A = 目標を大幅に達成できた | D = 目標を一部達成できなかった |
| B = 目標をいくらか超えて達成できた | E = ほぼ全く達成できなかった |
| C = 目標どおり達成できた | |

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

		整理番号	27
		担当課名	教育総務課
【評価事務事業：当初確認事項】			
事業名	生徒派遣費補助金		
教育ビジョン	小項目	6 学習やスポーツに積極的に参加し、文化や芸術に親しみ、心身ともに健康で、自らの夢を実現させる人があふれる町	その他共通ビジョン項目
	具体的な目標	3 部活動やスポーツクラブの充実と全国大会派遣	
事業の目的・概要	【目的】 文部科学省・中学校体育・文化連盟などが主催・共催する全国大会・中国大会に参加する経費を補助することにより、保護者の経済的負担軽減を図るとともに、学校教育における体育・文化活動の振興を図る。 【概要】 学校教育に位置づけられる部活動が県大会などの選考会を経て参加する全国・中国大会の参加生徒及び外部指導者1名に対し、旅費、宿泊費、参加費の全額を補助する。		
事業の効果	【効果】 ・部活動において全国・中国大会出場を目標に掲げ活動の推進を図る。 ・運動部においては、体力の向上、文化部においては、芸術性の感性を磨くとともに、共通して専門的技量の向上を図る。 ・団体種目では、仲間づくりや協調性など人間力の向上を図る。		
具体的な取り組み	・部活動において県大会などの選考会を経て参加する全国・中国大会の参加費（旅費・宿泊費・参加費）の全額を補助する。		

【最終評価】

事務局	事業実績	・北条中：13部（全校199名）のうち3部 生徒5名、外部指導者2名、大栄中：12部（全校211名）のうち2部 生徒8名、外部指導者1名が、中国大会へ参加し、参加経費を補助し保護者の負担軽減を図った。 ・北条中：柔道部生徒1名、外部指導者1名、大栄中：柔道部 生徒1名、外部指導者1名が、全国大会へ参加し、参加経費を補助し保護者の負担軽減を図った。 ・部活動の取り組みの成果として、技術の向上や他県代表との競技を通じての交流を図ることができた。
	成果・効果	・生徒が高い志を持ち部活動に取り組むとともに、競技技術の向上や豊かな人間づくりの取り組みができています。 ・参加経費を補助することにより保護者の負担軽減を図っているとともに、家庭の事情に関係なく大会に参加できる環境づくりを行っている。
	課題	・特になし。
	改善方針	【継続】 ・教育課程に位置づけられている部活動に伴う必要最低限必要な大会参加経費の補助であり、学校教育上必要なものであり、かつ、教育的な意義は高いと考える。
内部評価	最終評価	【意見等】 ・学校教育に位置づけられている部活動における参加経費の補助であり、必要なものであると考える。 ・高い志を掲げ、自ら取り組んだり、仲間づくり、協調性などが養うことができる。 ・保護者の負担軽減となっている。
	C	

※ 評価確認事項

★評価の観点

① 継続・単年
② 対象者、参加者
③ 参加者の満足度
④ 予算措置
⑤ 教育ビジョンへの貢献度

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

★評価の基準

A =目標を大幅に達成できた	D =目標を一部達成できなかった
B =目標をいくらか超えて達成できた	E =ほぼ全く達成できなかった
C =目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

		整理番号	28
		担当課名	生涯学習課
【評価事務事業：当初確認事項】			
事業名	指定管理者北栄スポーツクラブによる各種スポーツ大会の実施		
教育ビジョン	小項目	6 学習やスポーツに積極的に参加し、文化や芸術に親しみ、心身ともに健康で、自らの夢を実現させる人があふれる町	その他共通ビジョン項目 6-6
	具体的な目標	4 各種スポーツ大会の開催	
事業の目的・概要	「北栄スポーツクラブ事業」として、 【目的】 北栄スポーツクラブを指定管理者として町内体育施設の管理、主な社会体育事業の実施を委託し、町民が生涯を通じて豊かで活力ある生活を営むため、「だれもが・いつでも・どこでも」気軽に楽しめる生涯スポーツ及び競技スポーツを推進する。 【概要】 ① 北栄スポーツクラブ活動(事業名 北栄スポーツクラブ(ジュニアの部、成人の部)活動) ② 主な社会体育事業の実施(事業名 指定管理者北栄スポーツクラブによる各種スポーツ大会の実施) ③ 町内体育施設の管理(事業名 北栄スポーツクラブによる施設管理の実施)		
事業の効果	【効果】 北栄スポーツクラブを指定管理者として、施設の管理と事業の実施を一括して行うことにより、施設の効率的な運用と事業の効果的な実施が期待できる。		
具体的な取り組み	① 北栄スポーツクラブ活動 ○ジュニアの部 18団体 別紙「①平成25年度ジュニアクラブ活動状況」参照 ○成人の部 59団体 別紙「②成人の部」参照 ② 主な社会体育事業の実施 別紙「③平成25年度北栄スポーツクラブ各種大会開催状況」参照 《実施中》 ○実施済大会(平成26年1月6日現在) 北条地区春季野球大会、大栄ナイター野球リーグ、北条ナイター野球リーグ、夏季グラウンド・ゴルフ大会、県シニア軟式野球交流大会、北栄町ゴルフ大会、東伯郡民体育大会、北条地区夏季野球大会、親子水泳教室、ナイトウオークin北栄、自然体験セミナーin陽岐、北栄町ソフトボール大会、カヌー教室、中部地区駅伝競走大会、北栄町町民運動会、秋季野球大会、米子・鳥取間駅伝競走大会、北栄町駅伝競走大会、北条地区女子バレーボール大会、大栄地区バレーボール大会、北栄町剣道大会、北栄町バドミントン大会、北栄町バットゲームスター大会、元旦マラソン&ウオーキング大会 ③ 町内体育施設の管理 B&G海洋センター、北条体育館、大栄体育館、大誠体育館、勤労者体育センター、北条ふれあい会館、大栄ふれあい会館、北条野球場、大栄野球場、北条運動場、大栄運動場、北条多目的広場		

【最終評価】

事務局	事業実績	北栄スポーツクラブを指定管理者として町内体育施設の管理、主な社会体育事業の実施を委託し、町民が生涯を通じて豊かで活力ある生活を営むため、「だれもが・いつでも・どこでも」気軽に楽しめる生涯スポーツ及び競技スポーツを推進した。
	成果・効果	平成25年度からソフトボール大会で北栄町全体としての開催を実現した。町全体で開催していない大会はあと残すところ、バレーボール大会のみとなり、来年度の町全体での開催に向けて大会要項の調整中である。現在は、大栄大会・北条大会を別々に開催しているが是非、北栄町全域での開催を実現したい。
	課題	スポーツ人口の拡大のために、町民大会の参加人数をさらに増やすことが必要である。
	改善方針	年間総合得点表彰制度(年間グランプリ表彰)を導入し、町民大会の参加者数増のきっかけとする。
内部評価	最終評価	【意見等】住民が様々な形でスポーツに関わり、健康の維持につながるよう事業を整理し体系化した上で、効果的なPRを行い、認知度あげていく取組が必要。町民運動会について、改善を継続的に続ける。
	C	

※ 評価確認事項

★評価の観点

- ① 継続・単年
- ② 対象者、参加者
- ③ 参加者の満足度
- ④ 予算措置
- ⑤ 教育ビジョンへの貢献度

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

★評価の基準

- | | |
|--------------------|------------------|
| A =目標を大幅に達成できた | D =目標を一部達成できなかった |
| B =目標をいくらか超えて達成できた | E =ほぼ全く達成できなかった |
| C =目標どおり達成できた | |

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

①平成25年度ジュニアクラブ活動状況

団 体 名	活 動 日	時 間	活 動 場 所 など	登録人数	指導者人数
北 条 剣 道	月・水・土曜日	19:00～20:30	北条ふれあい会館	13	8
北 条 野 球	火・木曜日	17:00～19:00	北条運動場(4月～11月・3月)	21	10
	土曜日	13:00～17:00	北条体育館(土曜日の雨天時と12月～2月土曜日)		
			北条小学校体育館(12月～2月火曜日)		
北 条 卓 球	月・水曜日 土曜日	17:30～19:30 9:00～12:00	北条小学校体育館	8	4
北条バレーボール	月・木曜日 土曜日	17:30～20:00 13:00～17:00	海洋センター・アリーナ	10	4
北条ミニバスケットボール	火・水・金曜日 土曜日	17:30～20:00 9:00～12:00	北条体育館	27	5
北条バドミントン	月・木曜日	19:00～20:30	北条体育館	25	4
北 条 サ ッ カ ー	月・木曜日	18:00～21:00	北条運動場(月・土曜日)	36	5
	土曜日	8:30～13:00	北条小学校体育館(木曜日)		
			北条小学校体育館(月・木曜日雨天時)		
大 栄 剣 道	月・水・土曜日	18:30～20:30	大栄武道館	4	10
大 栄 サ ッ カ ー (おだいばFC)	月・木曜日	17:30～19:00	大栄小学校グラウンド	19	10
	水曜日(第2・第4)	18:00～19:00	お台場公園多目的広場(土曜日)		
	土曜日	9:00～11:30	大蔵体育館(第2・第4水曜日)		
大 栄 バ ド ミ ャ ン ト ン	月・木曜日	18:30～20:00	勤労者体育センター(月・木・土曜日雨天時)	35	8
			大栄中学校体育館(月曜日)		
			大栄体育館(木曜日)		
大 栄 バ レ ー ボ ー ル	火・木・土曜日	17:30～20:00	大栄小学校体育館	9	6
大 栄 ミ ニ バ ス ケ ッ ト ボ ー ル	月・水曜日	18:00～20:00	大栄小学校体育館(月・水曜日、金曜日11月～2月)	16	4
	金曜日	19:00～21:00	大栄中学校体育館(金曜日4月～10月・3月)		
			大栄運動場		
大 栄 野 球	水・金曜日(4月～10月・3月)	16:00～19:00	勤労者体育センター(土曜日雨天時)	22	7
	土曜日	13:30～18:00	大栄中学校体育館(水曜日10月～3月、金曜日11月～2月18:30～20:30)		
	日曜日(4月～10月・3月)	8:30～12:00	大栄中学校体育館		
大 栄 卓 球	火・金曜日	17:30～20:00	大栄体育館	16	2
水 泳	月・木曜日(6月～9月)	18:30～20:00	海洋センター・プール(6月～9月)	26	7
	木曜日(10月～5月)	18:30～20:00	海洋センター・アリーナ(プール閉館時)		
			大栄武道館		
柔 道	月・木曜日	18:30～20:30	大栄武道館	15	7
陸 上	水曜日 金曜日	16:00～18:00 17:00～18:30	大栄小学校グラウンド (雨天時:大栄小学校体育館)	28	3
ドッジボール (くろぼくガッツ)	火・木曜日	18:00～20:00	勤労者体育センター(火曜日)	21	6
	土曜日	8:50～12:00	大蔵体育館(木曜日) 大栄小学校体育館(土曜日)		
合 計				351	110

②成人の部

NO. 1

部 名	活 動 日 時	場 所	人 数
バスケットボール部	毎週 金 20:00~22:00	北条中学校体育館	22
北条バレーボール部	毎週 火・金 20:00~22:00	北 条 体 育 館	35
北条バドミントン部	毎週 月・木 20:00~22:00	北 条 体 育 館	
水 泳 部	毎週 月・木 (5~9月) 19:00~20:30	海洋センター・プール	5
北条サッカー部	毎週 火 (3~12月) 20:00~22:00	お台場多目的広場	22
	毎週 火 (1・2月) 20:00~22:00	北 条 中 学 校	
北条剣道部	毎週 月 20:00~22:00	北条ふれあい会館	
北条卓球部	毎週 火・水・金 19:30~21:30	北条小学校体育館	17
北条グラウンドゴルフ部	毎週 木・木・土(4~8月) 6:30~ 8:30	グリーンランドほうき	56
	(9・10・11・12・3月) 13:30~15:30		
北条ゲートボール部	毎週 火・木・土 13:30~15:30	希 望 の 館	1
北条ソフトボール部	随 時	北 条 運 動 場	12
陸 上 部	随 時	北条中学校グラウンド	1
北条軟式野球部	随 時	北 条 野 球 場	47
銃 剣 道 部	随 時	各	自
ゴ ル フ 部	随 時	各	自 1
綱 引 き 部	随 時	各	自
大栄バレーボール部	毎週 火 20:00~22:00	大栄中学校体育館	21
	毎週 火・金 20:50~21:50	大 栄 体 育 館	
大栄バドミントンクラブ	毎週 月・木 20:00~22:00	大 栄 体 育 館	6
テ ニ ス 部	毎週 木 (4~10月) 20:00~22:00	お台場テニスコート	2
	毎週 木 (11~3月) 20:00~22:00	大栄中学校体育館	
柔 道 部	毎週 月・木 18:30~20:30	大 栄 武 道 館	
ソフトテニス部	毎週 水・土 14:00~17:00	大 栄 テ ニ ス コ ー ト	
大栄軟式野球部	随 時	大 栄 野 球 場	
大栄サッカー部	随 時	お台場多目的広場	
大栄剣道部	随 時	大 栄 武 道 館	11
大栄卓球部	随 時	大 栄 体 育 館	
大栄ソフトボール部	随 時	大 栄 野 球 場	
大栄ゲートボール部	随 時	社会福祉センターグラウンド	
駅 伝 部	随 時	各	自

クラブ名	種 目	活 動 日 時	場 所	人 数
アカシヤ	インディアカ	毎週 木 20:00~21:00	海 洋 セ ン タ ー	2
くるりん	新 体 操	毎週 日 17:00~18:00	海 洋 セ ン タ ー	18
ヨ ー ガ	ヨ ー ガ	随 時	海 洋 セ ン タ ー	
ひ ま わ り	エアロビク	随 時	北条ふれあい会館	
バウンドテニス	バウンドテニス	毎週 水・日 19:30~21:30	海 洋 セ ン タ ー	6
フル ー ツ	バウンスボール	毎週 月・金 14:00~16:00	海 洋 セ ン タ ー	12
う さ ぴ ょ ん	トランポリン	毎週 日 19:30~21:30	海 洋 セ ン タ ー	18
		毎月第2土曜日 13:00~16:00		
		毎月第4日曜日 9:30~12:30		
コ ス モ ス	ソフトバレー	毎週 月・金 20:00~22:00	海 洋 セ ン タ ー	26
ナ デ シ コ	ソフトバレー	毎週 水 20:00~22:00	海 洋 セ ン タ ー	13
ト ト ロ	バドミントン	毎週 土 19:30~22:00	北 条 体 育 館	20
		毎週 月・木 20:00~22:00		
さつきクラブ	バウンスボール	毎週 土 19:30~21:30	海 洋 セ ン タ ー	3
ビーチバレー	ビーチバレー	毎週 月・木 14:00~16:00	海 洋 セ ン タ ー	14
悠々クラブ	太 極 拳	毎週 水 19:30~21:30	北条ふれあい会館	10
		毎週 土 14:00~16:00		
杏仁クラブ	太 極 拳	第1、第2、第3金 19:30~21:30	北条ふれあい会館	3
ペ タ ン ク	ペ タ ン ク	毎週 土 13:30~14:30	海 洋 セ ン タ ー	8
北条太極拳	太 極 拳	随 時	海 洋 セ ン タ ー	
北条三浦会	踊 り	随 時	北条ふれあい会館	3
大栄太極拳	太 極 拳	毎週 水 20:00~21:30	勤労者体育センター	18
大栄チェリーズ	バウンドテニス	毎週 水・日 19:00~22:00	大栄ふれあい会館	8
ピンポン教室	ピ ン ポ ン	毎週 金 19:30~21:30	大 栄 体 育 館	7
コ ス モ ス	バドミントン	毎週 土 10:00~12:00	大 栄 体 育 館	7
ヤマケンズ	バスケットボー	毎週 月 20:00~22:00	大栄ふれあい会館	4
マリーシックス	バレーボール	毎週 木 20:00~22:00	大栄ふれあい会館	10
役場バドミントン	バドミントン	毎週 火 17:30~19:30	大 栄 体 育 館	
アスリートスマッシュ	バドミントン	毎週 火・金 20:00~22:00	大栄ふれあい会館	18
大 栄 羽 球	バドミントン	毎週 月・水・木・土 18:30~21:30	大 栄 体 育 館	6
		毎週 火・金 19:30~21:30	大 誠 体 育 館	
ふれあいバドミントン	バドミントン	毎週 日・火 20:00~22:00	大栄ふれあい会館	
F O R U M	ソフトバレー	毎週 土 20:00~22:00	大栄ふれあい会館	10
A B Cミラン	フットサル	毎週 金 20:00~22:00	勤労者体育センター	5
居 合 道 部	居 合 道	毎週 日 9:00~12:00	海 洋 セ ン タ ー	8
パットクラブ	パットゲームスター	毎週 金 9:00~11:00	海 洋 セ ン タ ー	2
ボウリング部	ボウリング	随 時	各 自	

③平成25年度北栄スポーツクラブ各種大会開催状況

期日	大会・教室等	チーム数	参加人数	優勝	準優勝	3位	3位	備考
4月21日	北条地区春季野球大会							雨天中止
5月11日 ～ 10月24日	大栄ナイター野球リーグ開幕	17	延べ 1536 (64試合)	六尾野球部	YR1	大島		A級
				西園	松本鉄工所	亀谷		B級
6月2日～ 10月10日	北条ナイター野球リーグ開幕	13	延べ864 (36試合)	田井	下神	役場		A級
				CROWD	弓原	プリーズ		B級
6月16日	夏季グラウンドゴルフ大会	23	153	みどり南団地	みどり一区	みどり西団地A		
6月23日	第4回県シニア軟式野球交流大会	4	80	米子錦海クラブ	鳥取ロートルズ	北栄きねづか		
6月30日	第8回北栄町ゴルフ大会	4	70	遠藤文記	加藤 優	中原啓介		一般の部
				西橋国光	久文晴夫	穂山弘文		シニアの部
				由良	下北条	大誠		団体の部
7月13日 ～21日	第59回東伯郡民体育大会		1093	琴浦町	北栄町	湯梨浜町	三朝町(4位)	男子
				琴浦町	湯梨浜町	北栄町	三朝町(4位)	女子
7月28日	北条地区夏季野球大会	6	72	田井	みどり南団地	松神	イーグルス	
8月1～22日	親子水泳教室		延べ77					計6回
8月10日	ナイトウォークin北栄		105					
8月19～21日	自然体験セミナーin隠岐		18					2泊3日
9月1日	北栄町ソフトボール大会							雨天中止
9月11～14日	カヌー教室		延べ49					計4回
9月15日	中部地区駅伝競走大会	全18	46	一般の部 北栄A2位 北栄B8位 北栄C9位 北栄D10位				北栄町4チーム出場
9月22日	北栄町グラウンド・ゴルフ大会	29	198	みどり西A	別所	由良宿3区		
9月22日	第9回北栄町ゴルフ大会	3	55	酒田康幸	岡本 稔	中原啓介		一般の部
				中本仁志	久文晴夫	宮本カツオ		シニアの部
				下北条	由良	大誠		団体の部
9月29日	北栄町町民運動会	29自治会	1500	曲	由良宿2区	みどり西団地		大自治会
				岩坪・高千穂	由良宿4区	国坂		小自治会
10月20日	秋季野球大会	3	36	イーグルス	宝製菓	みどり南団地		
11月9～10日	米子・鳥取間駅伝競走大会	全53	30	郡市町村の部(全11チーム) 北栄A1位 北栄B10位				北栄町2チーム出場
11月17日	北栄町駅伝競走大会	22	308	大谷	緑ヶ丘団地	六尾		自治会の部
				園芸試験場	米里F			一般の部
11月24日	北条地区女子バレーボール大会	8	96	土下	みどり西団地	松神	北尾	
11月24日	大栄地区バレーボール大会	21	256	由良宿2区	由良宿3区	大谷A	原	男子(A級)
		12	144	由良宿3区	大谷	由良宿1区	東園	女子(A級)
12月1日	北栄町剣道大会		26					5部門
12月8日	北栄町バドミントン大会	自治会33 クラブ1	340	大谷A	さくら団地	国坂浜	妻波A	A級
12月22日	北栄町パットゲームスター大会		20	田村武志	山本孝明	荒川辰也		
1月1日	元旦マラソン&ウォーキング大会		505					くもり
1月19日	北栄町町民卓球大会							A級
1月26日	指導者講演会							講師:村上幸史
2月1日	ジュニアスキー教室							
2月2日	北条地区男子バレーボール大会							
2月16日	北栄町バスケットボール大会							男子 女子

●平成25年度教育行政評価 事業評価シート

内部 評価用

		整理番号	29
【評価事務事業：当初確認事項】		担当課名	生涯学習課
事業名	すいか・ながいも健康マラソン大会の実施		
教育ビジョン	小項目	6 学習やスポーツに積極的に参加し、文化や芸術に親しみ、心身ともに健康で、自らの夢を実現させる人があふれる町	その他共通ビジョン項目
	具体的な目標	4 各種スポーツ大会の開催	
事業の目的・概要	【目的】 「名探偵コナンに会える」北栄町で、全国に名を誇る大栗すいか・砂丘ながいも畑の中を楽しく走り、健康・体力づくりを推進し、さらに、環境にやさしい風車や白砂青松の砂丘地など、本町の文化・産業を全国に広く発信しながら、魅力あるふるさとづくりを推進する。 【概要】 お台場公園多目的広場を発着点として、3km、5km、10kmの各コースで実施。参加者には、大会オリジナルTシャツ、すいか食べ放題、ながいもトロロ汁を準備し、本町の文化・産業を知っていただく。		
事業の効果	【効果】 マラソン大会を開催することにより、健康・体力づくりを推進しながら、北栄町を広く全国に発信し、本町の文化・産業の発展に資する。		
具体的な取り組み	第26回大会 平成25年7月7日(日)開催 お台場公園多目的広場を主会場として、3km、5km、10kmの3コースで実施する。		

【最終評価】

事務局	事業実績	平成25年度には26回を数え、北栄町のマラソン大会として、広く認知していただいている。 平成25年度参加申込者数 5,079人
	成果・効果	広く全国から毎年、募集定員を上回る参加をいただいております、本町の文化・産業を全国に広く発信しながら、魅力あるふるさとづくりに寄与している。
	課題	7月の暑い時期の開催であるので、熱中症対策のさらなる強化、また、多くの参加者に対応するための会場アクセスの改善が必要である。
	改善方針	次回大会では、熱中症対策として給水車増車、ミスト発生装置設置などの熱中症対策、また、シャトルバス増車などの会場アクセス改善などの関係者からの意見要望に対する改善策の実施を図る。
内部評価	最終評価	【意見等】参加人数増への対応、熱中症への対策など、継続的に課題に対して検討し、見直していくことが大切。
	B	

※ 評価確認事項

★評価の観点

① 継続・単年
② 対象者、参加者
③ 参加者の満足度
④ 予算措置
⑤ 教育ビジョンへの貢献度

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

★評価の基準

A = 目標を大幅に達成できた	D = 目標を一部達成できなかった
B = 目標をいくらか超えて達成できた	E = ほぼ全く達成できなかった
C = 目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

●平成25年度教育行政評価 事業評価シート

内部 評価用

		整理番号	30
【評価事務事業：当初確認事項】		担当課名	生涯学習課
事業名	東伯郡民体育大会主会場地に伴う取り組み強化（練習環境整備等）		
教育ビジョン	小項目	6 学習やスポーツに積極的に参加し、文化や芸術に親しみ、心身ともに健康で、自らの夢を実現させる人があふれる町	その他共通ビジョン項目
	具体的な目標	4 各種スポーツ大会の開催	
事業の目的・概要	【目的】 郡民体育大会主会場地としての取り組みを進めることにより、町民の運動に対する意識を向上させ、町が進める「健康なまちづくり」の実現に資する。 【概要】 郡民体育大会が本町を主会場地として開催されることを好機ととらえ、男女総合優勝を目指して対策を強化する。		
事業の効果	【効果】 町民の運動に対する意識の向上 競技力の向上		
具体的な取り組み	スポーツクラブを中心に次の取り組みを行う。 ・結団式の開催。 ・強化練習のための施設使用料免除期間の早期開始。 ・練習用消耗品の支給等。		

【最終評価】

事務局	事業実績	結団式：5/26開催 競技関係者約90人の参加 開会式：7/14 出場選手団：1,073人 結果：男子2位、女子3位
	成果・効果	運動に対する意識の向上。 競技力の向上。 新たな出場選手の開拓。
	課題	全種目出場による参加点の獲得。
	改善方針	スポーツ人口の拡大と潜在的な運動・競技経験者の顕在化のため、周知広報と選手確保に努める。
内部評価		最終評価 C 【意見等】 1位ではなかったが、参加人数、エントリー種目について検討し、成績も僅差だった。本年の取組みを継続することで、改善につなげていく。

※ 評価確認事項

★評価の観点
① 継続・単年
② 対象者、参加者
③ 参加者の満足度
④ 予算措置
⑤ 教育ビジョンへの貢献度

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

★評価の基準	
A = 目標を大幅に達成できた	D = 目標を一部達成できなかった
B = 目標をいくらか超えて達成できた	E = ほぼ全く達成できなかった
C = 目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

		整理番号	31
		担当課名	生涯学習課
【評価事務事業：当初確認事項】			
事業名	民芸実習館活用講座		
教育ビジョン	小項目	6 学習やスポーツに積極的に参加し、文化や芸術に親しみ、心身ともに健康で、自らの夢を実現させる人があふれる町	その他共通ビジョン項目
	具体的な目標	5 文化・体育施設の充実及び有効活用	
事業の目的・概要	【目的】 木工・陶芸・油絵・水墨画等の製作の場となる民芸実習館の活用と維持管理 町民の文化・芸術活動の推進と学習機会の提供 【概要】 教室の活動及び公民館講座を開催し、施設の活用と生涯学習の活動の場の提供		
事業の効果	【効果】 町民の文化・芸術活動の機会となり、地域住民の生涯学習の場となっており、施設活用にもつながっている。		
具体的な取り組み	① はじめての陶芸教室・・・全町民に募集し、1回10名程度で実施する。講師に謝金あり ② 木工教室・・・全町民に募集をし、5名程度で実施する。講師謝金あり 後にはサークル化する。 ③ 絵画教室・・・全町民に募集をし、随時教室生受け入れる。後には、サークル化する。		

【最終評価】

事務局	事業実績	民芸実習館の木工機械や施設を整備することにより、絵画教室や木工教室を実施し、講座からサークル化し、当初の目的である、町民の文化・芸術活動の推進を図ることができた。また、継続的な施設の活用へと繋げることができた。	
	成果・効果	① 陶芸・・・講座の開設を継続して実施し、陶芸に興味のある人を増やすことができた。 ② 木工・・・施設の機械の整備をし、施設の活用につなげた。また、木工に慣れ親しみ木工人口を増やした。 ③ 絵画・・・絵画に興味のある人に声掛けし、文化芸術に親しむ機会の提供ができ、サークル化し、施設の活用に結びつけた。	
	課題	① 陶芸・・・窯の管理指導者がなく、外部に委ねている為サークル化が課題である。 ② 木工・・・1回に5名程度しか利用できない為、教室生に限度がある ③ 絵画・・・教室生の増加	
	改善方針	① 陶芸・・・窯の管理指導者の養成 ② 木工・・・随時募集 ③ 絵画・・・随時募集	
内部評価		最終評価	【意見等】 要望のあった教室を立ち上げ、サークル化まで到達したことは評価できる。 施設・設備を改善し、全町民に教室生の募集をかけ、講座を教室として立ち上げることができた。
		B	

※ 評価確認事項

★評価の観点
① 継続・単年
② 対象者、参加者
③ 参加者の満足度
④ 予算措置
⑤ 教育ビジョンへの貢献度

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

★評価の基準

A = 目標を大幅に達成できた	D = 目標を一部達成できなかった
B = 目標をいくらか超えて達成できた	E = ほぼ全く達成できなかった
C = 目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

		整理番号	35
【評価事務事業：当初確認事項】		担当課名	生涯学習課
事業名	訪問型ニュースポーツ体験事業		
教育ビジョン	小項目	6 学習やスポーツに積極的に参加し、文化や芸術に親しみ、心身ともに健康で、自らの夢を実現させる人があふれる町	その他共通ビジョン項目
	具体的な目標	6 地域住民の健康増進	
事業の目的・概要	【目的】 従来の「来場型」事業に参加するまでの積極性はなくても、「身近な場所で気軽にできるなら、やってみよう」という参加者層を取り込むことにより、気軽に参加できる生涯スポーツを推進する。 【概要】 自治会公民館など参加者の希望する身近な場所に町スポーツ推進委員が訪問し、参加者の希望に応じたニュースポーツ種目を指導する。		
事業の効果	【効果】 気軽にスポーツに親しむ機会を提供し、新たな事業対象者を取り込むことにより、生涯スポーツ人口の裾野を広げていく。		
具体的な取り組み	小学校親子会、自治会のいきいきサロンなどを対象とし、町スポーツ推進委員がニュースポーツ、体操、レクリエーションなどの体験・指導を行う。 平成24年度実績、16回。		

【最終評価】

事務局	事業実績	小学校親子会、自治会等の求めに応じてスポーツ推進委員を派遣し、ニュースポーツの指導普及に努めた。
	成果・効果	住民に身近な機会、場所でニュースポーツを体験していただくことができた。 スポーツ推進委員の活動が住民に認知された。 自治会運動会、生き生きサロンでの利用が広がった。
	課題	平日の開催や、指導依頼が集中する時期の場合、訪問する委員の確保が難しい。
	改善方針	派遣が特定の委員に偏らないよう、委員相互の協力態勢の強化に努める。
内部評価	最終評価	A 【意見等】・町報掲載のほか、生涯学習出前講座のメニューの一つに掲げ、周知に努めている。 ・気楽に参加できるスポーツとしてその輪を町内に広げるための方法としてこの事業を継続していく必要がある。

※ 評価確認事項

★評価の観点	
①	継続・単年
②	対象者、参加者
③	参加者の満足度
④	予算措置
⑤	教育ビジョンへの貢献度

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

★評価の基準	
A	=目標を大幅に達成できた
B	=目標をいくらか超えて達成できた
C	=目標どおり達成できた
D	=目標を一部達成できなかった
E	=ほぼ全く達成できなかった

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

		整理番号	36
		担当課名	生涯学習課
【評価事務事業：当初確認事項】			
事業名	ウォーキングのまち北栄町推進事業		
教育ビジョン	小項目	6 学習やスポーツに積極的に参加し、文化や芸術に親しみ、心身ともに健康で、自らの夢を実現させる人があふれる町	その他共通ビジョン項目
	具体的な目標	6 地域住民の健康増進	2-4 6-5
事業の目的・概要	【目的】 年齢、体力にかかわらず気軽に取り組み、有酸素運動で心肺機能、体を鍛えられるウォーキングにより運動の裾野を拡大する。 【概要】 北栄町の恵まれた自然環境、文化遺産をテーマに年間を通じてウォーキング大会を実施する。		
事業の効果	【効果】 ウォーキングの推進により、日頃の運動不足を解消し基礎体力をつけ、肥満や生活習慣病を防ぐ。		
具体的な取り組み	年4回、テーマに沿ったコースを設定して実施。 1 日本海日の出ウォーク(日の出を見ながら海岸沿いを歩く。) 2 歩いて見て飲んでわくわくウォーク(北条ワイン貯蔵庫の見学など) 3 国史跡由良台場築造150年事業協賛 幕末の歴史探訪ウォーク(由良台場、史跡の見学など) 4 第1回ほくえいサザンクロスウォーク(東西約5キロと南北約18キロの2コースを設定)		

【最終評価】

事務局	事業実績	当初計画の通り、年4回実施 第1回 7月14日実施 日本海日の出ウォーク(座禅体験付き) 参加者数28人 第2回 9月15日実施 歩いて見て飲んでわくわくウォーク(北条ワイン試飲付き) 参加者数23人 第3回 10月20日実施 幕末の郷土探訪ウォーク(国史跡由良台場築造150年事業協賛) 参加者数26人	
	成果・効果	北栄町の恵まれた自然環境、文化遺産をテーマに年間を通じてウォーキング大会を実施し、ウォーキングによるまちづくりを推進した。	
	課題	町関係団体の実施する他のウォーキング大会との内容的な重複が見られる。困難な部分もあるが、他の大きな事業と開催期日が重なったり、連日となることがある。	
	改善方針	次年度は、町関係団体の実施する他のウォーキング大会との調整を行い、同時開催による事業の一本化を図り、効果的な事業運営を図る。	
内部評価		最終評価	【意見等】・参加人数を1回あたり40人程度となる工夫が必要。
		D	

※ 評価確認事項

★評価の観点
① 継続・単年
② 対象者、参加者
③ 参加者の満足度
④ 予算措置
⑤ 教育ビジョンへの貢献度

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

★評価の基準	
A =目標を大幅に達成できた	D =目標を一部達成できなかった
B =目標をいくらか超えて達成できた	E =ほぼ全く達成できなかった
C =目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

整理番号	32
担当課名	生涯学習課

【評価事務事業：当初確認事項】

事業名	公民館講座の充実		
教育ビジョン	小項目	6 学習やスポーツに積極的に参加し、文化や芸術に親しみ、心身ともに健康で、自らの夢を実現させる人があふれる町	その他共通ビジョン項目
	具体的な目標	7 公民館活動の推進	
事業の目的・概要	【目的】 幅広い年代に多様な学習機会を提供するという公民館の役割を果たすため、多様な講座を開設し、公民館に足を運ぶきっかけになるよう、学習機会を提供する。 【概要】 青少年講座・シニアクラブ・成人対象講座・自治会生涯学習部長研修会など年代・目的に合わせた講座を開設し、年間計画を立案し実施する。		
事業の効果	【効果】 * 幅広い年代の集う公民館として学習機会を提供する。 * 中央公民館としての責務を遂行するため、地域活動の中で自治会の果たす役割について研修を行い、自治会の公民館活動を支援するために中央公民館が情報提供や相談の機能を発揮する機会となる。		
具体的な取り組み	① シニアクラブ・・・開講式・総合学習8回・コース別学習10回・屋外研修・スポーツ交流会・閉講式を実施 ② 成人対象講座・・・トールペイント講座 ③ 自治会生涯学習部長研修会・・・6/3に実施・翌年3/2に実施予定		

【最終評価】

事務局	事業実績	シニアクラブ・成人対象講座・自治会生涯学習部長研修会などを実施し、幅広い年代に多様な学習機会を提供するという公民館の役割を果たすことができた。	
	成果・効果	幅広い年代に多様な学習機会を提供し、公民館の利用活用のきっかけとなった。	
	課題	内容によっては、男性の参加が少なく、成人講座内容を精査して実施する必要がある。予算の範囲内で充実した内容が必要である。即サークルとして立ち上げることは難しい。	
	改善方針	シニア・・・12月にアンケートを実施し会員の要望を考慮した内容で実施する。 講座・・・事業内容に実践的な講座を計画し、地域活動へとつなげていけるようにきっかけづくりとする。	
内部評価	最終評価	【意見等】 要望に対してだけでなく、課題に対して取り組みを具体的に進めること	
	C		

※ 評価確認事項

★評価の観点

① 継続・単年
② 対象者、参加者
③ 参加者の満足度
④ 予算措置
⑤ 教育ビジョンへの貢献度

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

★評価の基準

A = 目標を大幅に達成できた	D = 目標を一部達成できなかった
B = 目標をいくらか超えて達成できた	E = ほぼ全く達成できなかった
C = 目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

●平成25年度教育行政評価 事業評価シート

外・内部 評価用

		整理番号	37
【評価事務事業：当初確認事項】		担当課名	生涯学習課
事業名	北栄ゆら由良 川くだり		
教育ビジョン	小項目	6 学習やスポーツに積極的に参加し、文化や芸術に親しみ、心身ともに健康で、自らの夢を実現させる人があふれる町	その他共通ビジョン項目
	具体的な目標	7 公民館活動の推進	
事業の目的・概要	【目的】 名探偵コナンにあえる町北栄町と由良川の素晴らしさ、地域活動の大切さを身近に感じる 【概要】 人と人との繋がりとふれあいを深めるとともに地域の活性化を促進する。		
事業の効果	【効果】 河川環境保護・地域の仲間づくりによる地域活性化の促進する。		
具体的な取り組み	平成元年度に旧大栄町30周年記念事業として開催。平成15年に15回大会で幕を閉じる。平成18年度に北栄町事業として再開し、平成20年度に実行委員会を組織し、町と教育委員会で共催。イカダ作り、大会参加、オールと漕ぎ、ともに汗を流すことにより、人間関係が深まり、地域あるいは職場に活力が生まれる。		

【最終評価】

事務局	事業実績	イカダの部参加チーム数が昨年15チームから22チームと増加した。	
	成果・効果	実行委員会で運営を進める中、アンケート・意見交換会の内容を事業に反映させ、参加しやすいよう改善していった。その結果、参加増となった。	
	課題	①参加数増になったものの、微増である。 ②参加への経費負担への配慮として、参加賞及び各賞のあり方を変更したが、参加数が増えた場合対応できるか。(本年度スポンサー費135,000円(昨年度比較35,000円増)) ③イカダ作成への経費負担、労力負担が参加において大きな課題となっている。 ④実行委員会が本来の動きになっていないため、事務局中心の運営になっている。 ⑤一部の盛り上がりとなり、町全体のイベントとなっていない	
	改善方針	イカダ製作に多額の費用が掛かることから、参加チーム数を増やすことは困難。	
内部評価	最終評価	C	【意見等】・イベントの目的に沿った事業の充実を図ること、実行委員会を機能させることを踏まえた上で、事業の存続について検討すること。 ・北栄町の特色を町外へ発信すること。町内の活性化に役立つ事業として継続する必要がある。

※ 評価確認事項

★評価の観点
① 継続・単年
② 対象者、参加者
③ 参加者の満足度
④ 予算措置
⑤ 教育ビジョンへの貢献度

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

★評価の基準	
A = 目標を大幅に達成できた	D = 目標を一部達成できなかった
B = 目標をいくらか超えて達成できた	E = ほぼ全く達成できなかった
C = 目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

		整理番号	33
【評価事務事業：当初確認事項】		担当課名	生涯学習課
事業名	北栄文芸の編集発刊		
教育ビジョン	小項目	6 学習やスポーツに積極的に参加し、文化や芸術に親しみ、心身ともに健康で、自らの夢を実現させる人があふれる町	その他共通ビジョン項目
	具体的な目標	7 公民館活動の推進	
事業の目的・概要	【目的】 文芸に親しみ文化活動の成果を発表する場として、文芸作品を募集し編集、発刊する 【概要】 町民、町内勤務者、出身者を対象として、短歌・川柳・俳句・随筆などの作品を募集し、住民の文芸活動の意欲を高める		
事業の効果	【効果】 小学生から高齢者まで幅広い世代から募集し、文芸活動の意欲を図る。		
具体的な取り組み	町民、町内勤務者、出身者を対象として、短歌・川柳・俳句・随筆などの作品を募集し、文芸誌を発刊。		

【最終評価】

事務局	事業実績	今年度、4回文芸誌を発行した。
	成果・効果	随筆、俳句など文芸作品の発表の場となっている。一定の作品投稿のもと、町内外の施設等に北栄文芸を配布した。
	課題	毎回、一定の作品投稿はあるが、投稿者がほぼ固定されているため、新規投稿者の作品募集が必要。
	改善方針	日本海新聞の文芸欄に投稿されているが、北栄文芸に投稿されていらない方があり、投稿していただけるよう呼びかける。
内部評価		最終評価 D 【意見等】 投稿者を増やす根本的な手段を工夫すること。編集委員の増員を図ること。

※ 評価確認事項

★評価の観点

- | |
|---------------|
| ① 継続・単年 |
| ② 対象者、参加者 |
| ③ 参加者の満足度 |
| ④ 予算措置 |
| ⑤ 教育ビジョンへの貢献度 |

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

★評価の基準

- | | |
|---------------------|-------------------|
| A = 目標を大幅に達成できた | D = 目標を一部達成できなかった |
| B = 目標をいくらか超えて達成できた | E = ほぼ全く達成できなかった |
| C = 目標どおり達成できた | |

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

		整理番号	34
【評価事務事業：当初確認事項】		担当課名	生涯学習課
事業名	美術展の開催		
教育ビジョン	小項目	6 学習やスポーツに積極的に参加し、文化や芸術に親しみ、心身ともに健康で、自らの夢を実現させる人があふれる町	その他共通ビジョン項目
	具体的な目標	7 公民館活動の推進	
事業の目的・概要	【目的】 町民等から多くの優れた美術作品を募り、展示することによって、創作活動の振興を図るとともに、鑑賞の機会を提供し、美術・文化の振興に寄与する。 【概要】 日本画、洋画等11部門で作品を募集し、中から美術展賞、奨励賞を選び表彰する。審査員、招待作家、無鑑査作家の作品も展示する。		
事業の効果	【効果】 美術展および公民館まつりとも町民に根付いている。		
具体的な取り組み	日本画、洋画等11部門で作品を募集し、中から美術展賞、奨励賞を選び表彰する。審査員、招待作家、無鑑査作家の作品も展示する。		

【最終評価】

事務局	事業実績	11部門で出展数は154点でそれを多くの住民に鑑賞していただくことができた。なお、来館者数は811人。
	成果・効果	美術展への出展は単に作品を作成することにとどまらず、出展目標を掲げながら実力向上に励み、製作意欲が増す。 遠方に出かけなくても県下でも格調高く評価されている町美術展において県展無鑑査作家等の優秀な作品を鑑賞することができる。
	課題	公民館まつりには出展されるが、美術展には出展されない方ある。切り絵、版画、彫刻の出展者が少ない。
	改善方針	広報の工夫をし、出展者・鑑賞者が固定しないよう町外に広く呼びかけていく。 作者が高齢化し、公民館講座・文化教室などで教室生育成の掘り起しが必要である。
内部評価	最終評価	【意見等】 全体的に出展数は十分あるが、部門によって出展数に差がある。(切り絵、版画、彫刻の掘り起しが必要) 若年層の参加を増やす取り組みを検討すること。
	B	

※ 評価確認事項

★評価の観点

① 継続・単年
② 対象者、参加者
③ 参加者の満足度
④ 予算措置
⑤ 教育ビジョンへの貢献度

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

★評価の基準

A = 目標を大幅に達成できた	D = 目標を一部達成できなかった
B = 目標をいくらか超えて達成できた	E = ほぼ全く達成できなかった
C = 目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

●平成25年度教育行政評価 事業評価シート

内部 評価用

		整理番号	35
		担当課名	生涯学習課
【評価事務事業：当初確認事項】			
事業名	公民館まつりの開催		
教育ビジョン	小項目	6 学習やスポーツに積極的に参加し、文化や芸術に親しみ、心身ともに健康で、自らの夢を実現させる人があふれる町	その他共通ビジョン項目
	具体的な目標	7 公民館活動の推進	
事業の目的・概要	【目的】 公民館活動と地域活動の輪をひろげていくため、相互の交流を図り、豊かな人間関係の形成と、学習・文化活動を深めていくことを目的とする。 【概要】 公民館及び自治会公民館等で活動するあらゆる個人・クラブ・団体が日頃の成果を発表する		
事業の効果	【効果】 実行委員会で自主的に運営されており、地域住民に事業が定着しており、個人・クラブ・団体の日頃の成果の場となっている。		
具体的な取り組み	公民館及び自治会公民館等で活動するあらゆる個人・クラブ・団体が日頃の成果を発表する		

【最終評価】

事務局	事業実績	作品展、芸能発表会とも盛大に開催することができた。 作品の展示も来場者が見やすく工夫がされていた。 開会式にも多くの参加者があった。
	成果・効果	実行委員会を主体に事業が進められ、活動の発表と鑑賞を通じて町民が集い、交流をし親睦を深めよりよい地域づくりと生涯学習意欲を進めることができた。 また、自治会単位での参加もあり広がりを見せている。
	課題	出品者・参加者に高齢化が目立つため、教室生・若年層の掘り起し及び様々な分野からの参加が必要である。
	改善方針	実行委員に高齢化がみられるため、運営を継続していくためにも、毎年、少人数ずつ若年化を図っていききたい。
内部評価		最終評価 【意見等】 様々な世代からの参加を見据えた取り組みを検討すること。
		B

※ 評価確認事項

★評価の観点

① 継続・単年
② 対象者、参加者
③ 参加者の満足度
④ 予算措置
⑤ 教育ビジョンへの貢献度

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

★評価の基準

A = 目標を大幅に達成できた	D = 目標を一部達成できなかった
B = 目標をいくらか超えて達成できた	E = ほぼ全く達成できなかった
C = 目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

整理番号

36

【評価事務事業：当初確認事項】

担当課名

生涯学習課

事業名	文化教室等の成果還元活動推進			
教育ビジョン	小項目	6 学習やスポーツに積極的に参加し、文化や芸術に親しみ、心身ともに健康で、自らの夢を実現させる人があふれる町	その他共通ビジョン項目	
	具体的な目標	7 公民館活動の推進		
事業の目的・概要	【目的】 教室活動の拡充や、さらなる活動へチャレンジするため 【概要】 各教室で身につけた学習知識や技術を、講座及び展示・発表等の方法により地域住民に提供する活動を実施するための費用の助成を行う			
事業の効果	【効果】 町内各施設での作品の展示、芸能を披露し、地域住民に潤いを感じてもらい、また、教室生の文化活動意欲を高めていく。			
具体的な取り組み	町内各施設での作品の展示、芸能の披露。			

【最終評価】

事務局	事業実績	各教室で身につけた学習知識や技術を、講座及び展示・発表等の方法により地域住民に提供する活動に対し助成を行った。
	成果・効果	各教室で身につけた学習知識や技術を、舞踊、民謡等であれば、老人保健施設で発表、また、ちぎり絵、書道等であれば、金融機関、公民館で展示により意欲的に活動できるよう助成をすることができた。
	課題	加入される方がなく、会員が徐々に少なくなっている文化教室がある。趣味を持っている人、持っていない人にかかわらず、家に閉じこもりがちな町民をいかに文化教室へ加入していただけるように中央公民館が手助けが必要である。
	改善方針	美術展で文化教室の紹介をするなど、教室生の高齢化対策として、あらゆる場を利用して紹介をし、若年化をしていく。
内部評価		最終評価 【意見等】 若者のグループなど、新しい団体の参加を増やす取り組みを。
		C

※ 評価確認事項

★評価の観点

- ① 継続・単年
- ② 対象者、参加者
- ③ 参加者の満足度
- ④ 予算措置
- ⑤ 教育ビジョンへの貢献度

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

★評価の基準

- | | |
|---------------------|-------------------|
| A = 目標を大幅に達成できた | D = 目標を一部達成できなかった |
| B = 目標をいくらか超えて達成できた | E = ほぼ全く達成できなかった |
| C = 目標どおり達成できた | |

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

		整理番号	37
		担当課名	生涯学習課
【評価事務事業：当初確認事項】			
事業名	指定管理者まちづくりネットによる大栄分館の管理及び各種事業の実施		
教育ビジョン	小項目	6 学習やスポーツに積極的に参加し、文化や芸術に親しみ、心身ともに健康で、自らの夢を実現させる人があふれる町	その他共通ビジョン項目
	具体的な目標	7 公民館活動の推進	
事業の目的・概要	【目的】 住民参画によって、地域のニーズにこたえるため、中央公民館大栄分館の管理運営及び事業をNP O法人まちづくりネットに委託する。指定管理機関H24～H26 【概要】 大栄分館の管理運営業務のほか、子どもほくえい塾、各種講座、講演会、子どもミュージカル等の事業実施		
事業の効果	【効果】 町民ミュージカルなどの新規事業も継続され、積極的に取り組んでいただき、地域の生涯学習の拠点となっている。		
具体的な取り組み	活動計画に沿って事業実施 ① 子どもほくえい塾 ② 公民館講座事業・・・まちづくり講演会・環境講演会・料理教室・消費者講座・子ども公民館まつり ③ 子どもミュージカル		

【最終評価】

事務局	事業実績	活動計画に沿って事業実施 ① 子どもほくえい塾 ② 公民館講座事業・・・まちづくり講演会・環境講演会・料理教室・消費者講座・子ども公民館まつり ③ 子どもミュージカル
	成果・効果	町民ミュージカルなどの新規事業も継続され、積極的に取り組んでいただき、地域の生涯学習の拠点となっている。
	課題	
	改善方針	
内部評価		最終評価 【意見等】実績を踏まえ、明らかにした上で評価すること。 B

※ 評価確認事項

★評価の観点

① 継続・単年
② 対象者、参加者
③ 参加者の満足度
④ 予算措置
⑤ 教育ビジョンへの貢献度

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

★評価の基準

A = 目標を大幅に達成できた	D = 目標を一部達成できなかった
B = 目標をいくらか超えて達成できた	E = ほぼ全く達成できなかった
C = 目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

			整理番号	38
【評価事務事業：当初確認事項】			担当課名	生涯学習課
事業名	図書館まつりの開催			
教育ビジョン	小項目	6 学習やスポーツに積極的に参加し、文化や芸術に親しみ、心身ともに健康で、自らの夢を実現させる人があふれる町		その他共通ビジョン項目
	具体的な目標	8 図書館活動の推進		
事業の目的・概要	【目的】 文字・活字文化の日、古典の日、文化の日などを中心に「図書館まつり」を開催し、町民に読書の大切さ、図書館の楽しさを発信する。開館20周年記念事業の一環として開催する。 【概要】 講演会、各講座、子ども向けの催し、お薦めの本の展示、ビデオ鑑賞会、ブックリサイクルなど多数の内容を提供し、町民の参加型で開催する。			
事業の効果	【効果】 ・目標—読書活動推進のため、図書館活動を広く町民に周知する事業に取り組み、来館を促す。 ・効果—多彩な催しを提供することで、図書館を利用したことがない人が来館するきっかけとなったり、図書館活動を知っていただける良い機会となっており、以後利用につながる人が多い。			
具体的な取り組み	期間中は講座や子ども向けの催しなど総合的にを行い、来館を促す。 特別講座「源氏物語」「福本和夫を識る」「郷土史入門」については、土日に開催し、各講座25名程度の参加者を目標とする。また、子ども向けの催し(絵本の読みきかせや工作教室など)についても、25名程度の参加者を目標とする。平日はシネマ上映を予定。各回とも20名程度の参加者を目標とする。なお、期間中はお薦めの本の展示やブックリサイクルを行う。			

【最終評価】

事務局	事業実績	図書館開館20周年を記念し、初日のオープニングセレモニーでは、「世界ミステリー文庫」開設とボランティア表彰、20歳の方へのプレゼントのPRなどを行い、期間中はブックリサイクル、各種講座、児童向けのイベントなどを盛大に開催。たくさんの方にご来館いただき、期間中の入館者延総数は2,033人(昨年は2,455人)。
	成果・効果	多彩な催しを提供することで、図書館を利用したことがない人が来館するきっかけとなったり、図書館活動を知っていただける良い機会となっており、以後の利用につながる。
	課題	文字・活字文化の日、古典の日、読書週間期間中を考慮に入れての実施にした。しかし、実施期間が長い感があるので、来年度は短縮する方向にしたい。
	改善方針	来年度は短期間集中型で実施したい。
内部評価		最終評価 C 【意見等】 ・開館20周年に向けて、記念行事を行い、利用促進等を図る。 ・講座については、会場規模の件で場所変更も考慮するのがいいのでは、という意見が出ていたが、図書館資料利用促進につなげるため、図書館で開催の予定。 ・図書館利用を通じて町民の生涯学習の一つを取得してほしい。事業を継続する必要がある。

※ 評価確認事項

★評価の観点
① 継続・単年
② 対象者、参加者
③ 参加者の満足度
④ 予算措置
⑤ 教育ビジョンへの貢献度

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

★評価の基準	
A = 目標を大幅に達成できた	D = 目標を一部達成できなかった
B = 目標をいくらか超えて達成できた	E = ほぼ全く達成できなかった
C = 目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

整理番号

39

担当課名

生涯学習課

【評価事務事業：当初確認事項】

事業名	開館20周年記念事業(図書館コンサート)の開催			
教育ビジョン	小項目	6 学習やスポーツに積極的に参加し、文化や芸術に親しみ、心身ともに健康で、自らの夢を実現させる人があふれる町	その他共通ビジョン項目	
	具体的な目標	8 図書館活動の推進		
事業の目的・概要	【目的】 広い空間と高い天井の館内で、赤ちゃんから高齢者まで幅広い方を対象に開館20周年を記念し、図書館コンサートを年3回開催する。この取り組みにより、利用促進と図書館活動事業の周知を図る。			
	【概要】 大人から子どもまで広く親しまれている「童謡・唱歌」コンサートを開催し、参加したすべての人たちと共に時間を共有し、日本の芸術に触れる。			
事業の効果	【効果】 効果一図書館事業のみに止まらず、生涯学習の中の芸術的な分野を提供することで、図書館利用の促進、資料の活用に期待できる。			
具体的な取り組み	・1回目－「図書館トーク&ギターコンサート」大山町 門脇さんを予定。 ・2回目－町内で活躍している「童謡・唱歌を歌う会」のメンバーによる「童謡・唱歌」コンサート。10～15曲程度を予定し、その中には参加者と一緒に歌う曲も盛り込んでもらう。曲目は未定。童謡・唱歌が誕生した経過等も語ってもらう。館内には「童謡・唱歌」に関する本やその他関連資料を展示し、貸出に供する。 ・3回目－鳥取中央育英高校音楽部による「クリスマスコンサート」。好評につき、恒例行事として数年前から継続。クリスマス曲を中心に、歌や合奏、ハンドベルなどを披露。			

【最終評価】

事務局	事業実績	3回開催 ・1回目－「ギターコンサート」(大山町 門脇さん) ・2回目－「童謡・唱歌を歌うコンサート」(童謡・唱歌を歌う会) ・3回目－「クリスマスコンサート」(鳥取中央育英高校音楽部)
	成果・効果	生涯学習の中の芸術的な分野を提供することで、新たな図書館利用者の掘り起こしと資料の活用につながる。(各コンサートの関連本の展示など)
	課題	生の芸術に触れる絶好の機会なので、様々な器楽表現を提供する機会としたい。
	改善方針	次年度も3回程度開催予定。参加呼びかけ、PRを徹底し、より多くの参加者を募りたい。
内部評価	最終評価	【意見等】・町民の生涯学習の一つを探し出してもらうことができる。事業を継続する。
	C	・図書館20周年は一度であるが関連事業としていく。

※ 評価確認事項

★評価の観点

- ① 継続・単年
- ② 対象者、参加者
- ③ 参加者の満足度
- ④ 予算措置
- ⑤ 教育ビジョンへの貢献度

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

★評価の基準

- | | |
|---------------------|-------------------|
| A = 目標を大幅に達成できた | D = 目標を一部達成できなかった |
| B = 目標をいくらか超えて達成できた | E = ほぼ全く達成できなかった |
| C = 目標どおり達成できた | |

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

		整理番号	40
【評価事務事業：当初確認事項】		担当課名	生涯学習課
事業名	土曜講座		
教育ビジョン	小項目	6 学習やスポーツに積極的に参加し、文化や芸術に親しみ、心身ともに健康で、自らの夢を実現させる人があふれる町	その他共通ビジョン項目
	具体的な目標	8 図書館活動の推進	
事業の目的・概要	【目的】「源氏物語を読む」「郷土史入門」講座を定期的に行うことにより、図書館資料の活用を促進し、読書活動の推進、生涯学習に資する。 【概要】「源氏物語を読む」―図書館資料を活用しながら、逐語訳で読んでいく。「郷土史入門」―テーマにそって講座を開設。		
事業の効果	【効果】・目標―読書活動推進のため、図書館活動を広く町民に周知する事業に取り組み、来館を促す。 ・効果―自ら学ぶ機会を提供し開催することで、参加者の個人学習の意欲をそそぎ、豊かな人生を育むことで、図書館が生涯学習の拠点となる。また、図書館利用の促進につながる。		
具体的な取り組み	・「源氏物語を読む」…1000年という長い歴史を経て今もなお読み継がれている「源氏物語」の時代背景、日本の伝統文化などを講師の説明を交えながら講読する。今年度は第5巻「若紫」。毎月第2・4土曜日に開催。 ・「郷土史入門」…①郷土史概説、②日本の文化、日本の歴史、地域史、風土記、社会制度、時代背景など③自然、地理、産業などの内容について、講座を開設する。今年度は年8回開催予定。関連資料の展示		

【最終評価】

事務局	事業実績	・源氏物語―毎月第2・4(土)に開催。3月まで継続中。 ・郷土史入門―9月から毎月第3土曜日に開催。3月まで継続中。
	成果・効果	講座を開催することで、関連した本の貸出・閲覧等につながっている。また、他の分野の本の貸出にもつながっている。
	課題	源氏物語講座は平成21年からの開講で、今年で5年目。事務局が運営を行ってきたが、徐々に参加者の自主的な運営(参加受付、会場準備、片付けなど)に取り組むことが必要。郷土史入門講座は平成24年からの開講で、2年目。
	改善方針	引き続き継続。
内部評価	最終評価	【意見等】・町民の生涯学習の一つを模索してもらうため地道な活動が必要である。事業を継続する必要がある。
	C	

※ 評価確認事項

★評価の観点

① 継続・単年
② 対象者、参加者
③ 参加者の満足度
④ 予算措置
⑤ 教育ビジョンへの貢献度

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

★評価の基準

A = 目標を大幅に達成できた	D = 目標を一部達成できなかった
B = 目標をいくらか超えて達成できた	E = ほぼ全く達成できなかった
C = 目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

整理番号	41
担当課名	生涯学習課

【評価事務事業：当初確認事項】

事業名	図書館情報システムの活用		
教育ビジョン	小項目	6 学習やスポーツに積極的に参加し、文化や芸術に親しみ、心身ともに健康で、自らの夢を実現させる人があふれる町	その他共通ビジョン項目
	具体的な目標	8 図書館活動の推進	
事業の目的・概要	【目的】 図書館と北条分室、町内小・中学校の図書室とのネットワークの更なる充実を図ると共に、町民の求める資料の迅速な提供と、サービス向上に努める。 【概要】 ・学校側が求める資料をシステム上で確認し、学校間相互貸借の円滑な運用を図る。 ・町民求める資料の検索、予約、県内外からの相互貸借等、システムを活用し提供する。		
事業の効果	【効果】 ・学校図書室の求める資料を提供し、学校支援を図る。 ・町民の求める資料の検索、予約、購入、県内外からの相互貸借など、システムを十分活用して、迅速な提供を図る。ホームページから資料の有無、図書館行事、利用状況などを確認できる。		
具体的な取り組み	・学校から町立図書館にシステムを活用して資料を依頼すると、町立図書館に相互貸借依頼が入る。町立図書館は資料を揃え、準備でき次第システム上でお知らせする。学校図書館司書が図書館へ来館し、資料を手渡す。あるいはシャトル便で送る。 ・システムによるスムーズな貸出返却作業、当館の資料検索並びに県内外の資料検索、予約・リクエストの受入など、全ての面で活用。		

【最終評価】

事務局	事業実績	図書館と北条分室、町内小・中学校の図書室とのネットワークの更なる充実を図ると共に、町民の求める資料の迅速な提供と、サービス向上に努めた。
	成果・効果	・学校図書室の求める資料を提供し、学校支援を図る。 ・町民の求める資料の検索・予約・購入・県内外からの相互貸借など、システムを活用して、迅速な提供を図る。
	課題	図書館システムが更新時期にきている。保守も26年度で終了となるため、それに向けて予算化が必要。(バージョンが古くなり、貸出処理などをしている画面がフリーズしたりするので、利用者に迷惑がかかってしまうことがある)
	改善方針	貸出冊数増加に向けて、来館を促すような特集、展示等を考え、利用促進につなげたい。
内部評価		最終評価 C 【意見等】 ・必要な資料の迅速な情報提供ができることをさらに発信する必要がある。事業の継続が必要である。

※ 評価確認事項

★評価の観点
① 継続・単年
② 対象者、参加者
③ 参加者の満足度
④ 予算措置
⑤ 教育ビジョンへの貢献度

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

★評価の基準

A	=目標を大幅に達成できた	D	=目標を一部達成できなかった
B	=目標をいくらか超えて達成できた	E	=ほぼ全く達成できなかった
C	=目標どおり達成できた		

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

		整理番号	42
【評価事務事業：当初確認事項】		担当課名	生涯学習課
事業名	ビデオ鑑賞会の開催		
教育ビジョン	小項目	6 学習やスポーツに積極的に参加し、文化や芸術に親しみ、心身ともに健康で、自らの夢を実現させる人があふれる町	その他共通ビジョン項目
	具体的な目標	8 図書館活動の推進	
事業の目的・概要	【目的】 名画に触れることで心を潤し、感動を共有する機会を提供する。また、名作本に関連した映画を上映することで、図書館資料と結びつけ、利用促進を図る。 【概要】 子ども向け－毎月最終土曜日に上映。今年度は年間を通して「名探偵コナン」を上映する。大人向け－毎週日曜日に上映。今年度は「家族」をテーマに上映する。		
事業の効果	【効果】 ・上映することで、その映画に関連のある図書を求める利用者がある。利用に結びつく。 ・町民の教養、文化芸術への関心を高める。		
具体的な取り組み	子ども向け－毎月最終土曜日午後13:30から上映。 大人向け－毎週日曜日午後13:30から上映。 町報、町放送、ホームページで周知するとともに、毎回上映の際には館内放送でお知らせし、PRにつとめる。		

【最終評価】

事務局	事業実績	名画に触れることで心を潤し、感動を共有する機会を提供できた。また、名作本に関連した映画を上映することで、図書館資料と結びつけ、利用促進を図った。
	成果・効果	・上映することで、その映画に関連のある図書の貸出や問い合わせ等があり、利用に結びついている。 ・町民の教養、文化芸術への関心を高める。
	課題	大人向けはテーマを決めて毎週日曜日に上映。参加者は定着しつつあるが、子ども向けの参加者が少ないので、PRを徹底することが必要。
	改善方針	由良駅の愛称が「コナン駅」となったことにちなみ、図書館に立ち寄った観光客でも鑑賞できるよう「名探偵コナン」作品を上映する。上映回数や時間等は今後検討していく。
内部評価	最終評価	【意見等】 ・ビデオ鑑賞により心を潤すことができたり、上映ビデオ関連の図書利用など利用促進につながっている。 ・図書館活動の推進は蔵書の利用、それを除くものを利用してもらうことが必要である。ビデオ鑑賞会は適切な事業であるので継続が必要である。
	D	

※ 評価確認事項

★評価の観点

① 継続・単年
② 対象者、参加者
③ 参加者の満足度
④ 予算措置
⑤ 教育ビジョンへの貢献度

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

★評価の基準

A =目標を大幅に達成できた	D =目標を一部達成できなかった
B =目標をいくらか超えて達成できた	E =ほぼ全く達成できなかった
C =目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。